

別添 2 圏域における取組等状況調書（様式 2－1）  
医療体制構築等に関する取組等（胆江保健医療圏）

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																																																																																											
がんの医療体制	<div>（概況）</div> <div>○ がん死亡者数（人）及び（人口動態統計、厚生労働省 毎年調査）及び全死因数に占める割合（下段 %）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H25 (H24)</td><td>H26 (H25)</td><td>H27① (H26)</td><td>H28② (H27)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>452 (25.6)</td><td>507 (28.5)</td><td>491 (25.5)</td><td>536 (29.1)</td><td>45 (3.6)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>4,241 (26.4)</td><td>4,296 (26.9)</td><td>4,307 (26.5)</td><td>4,404 (26.7)</td><td>97 (0.2)</td></tr></table> <div>○ 胆江圏域においても、禁煙マスター（保健所長等）による禁煙教室の開催</div> <table><tr><td colspan="6">禁煙マスター（保健所長等）による禁煙教室</td></tr><tr><td>区 分</td><td>禁 煙 教 室</td><td>H25 (H25)</td><td>①H26 (H26)</td><td>②H27 (H27)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td rowspan="2">胆 江</td><td>回 数</td><td>5</td><td>3</td><td>7</td><td>4</td></tr><tr><td>受講者</td><td>1,103</td><td>190</td><td>531</td><td>341</td></tr></table> <div>○ 禁煙を実施する飲食店等</div> <table><tr><td rowspan="2">区 分</td><td>H25</td><td>① H26</td><td>②H27</td><td rowspan="2">増減 ②-①</td></tr><tr><td>(26.3.31)</td><td>(27.3.31)</td><td>(28.3.31)</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>17</td><td>19</td><td>19</td><td>0</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>334</td><td>369</td><td>390</td><td>39</td></tr></table> <div>（がんの早期発見）</div> <div>○ 各種がん検診の受診率（地域保健・健康増進事業報告、厚生労働省 毎年度）</div> <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>肺</td><td>子 宮</td><td>大 腸</td><td>乳</td><td>胃</td></tr><tr><td rowspan="3">胆 江</td><td>H24</td><td>40.8</td><td>21.5</td><td>23.5</td><td>19.9</td><td>15.2</td></tr><tr><td>H25</td><td>27.3</td><td>27.7</td><td>23.9</td><td>36.7</td><td>14.9</td></tr><tr><td>H26</td><td>30.1</td><td>40.9</td><td>32.1</td><td>51.4</td><td>18.5</td></tr><tr><td rowspan="3">岩手県</td><td>H24</td><td>28.3</td><td>27.7</td><td>24.1</td><td>25.2</td><td>17.5</td></tr><tr><td>H24</td><td>24.6</td><td>35.5</td><td>24.1</td><td>26.8</td><td>17.1</td></tr><tr><td>H26</td><td>25.2</td><td>33.5</td><td>25.4</td><td>23.7</td><td>17.6</td></tr><tr><td rowspan="3">全 国</td><td>H24</td><td>17.3</td><td>23.5</td><td>18.7</td><td>17.4</td><td>9.0</td></tr><tr><td>H25</td><td>16.0</td><td>31.1</td><td>19.0</td><td>25.3</td><td>9.6</td></tr><tr><td>H26</td><td>16.1</td><td>32.0</td><td>19.2</td><td>26.1</td><td>9.3</td></tr></table>	区 分	H25 (H24)	H26 (H25)	H27① (H26)	H28② (H27)	増減 ②-①	胆 江	452 (25.6)	507 (28.5)	491 (25.5)	536 (29.1)	45 (3.6)	岩手県	4,241 (26.4)	4,296 (26.9)	4,307 (26.5)	4,404 (26.7)	97 (0.2)	禁煙マスター（保健所長等）による禁煙教室						区 分	禁 煙 教 室	H25 (H25)	①H26 (H26)	②H27 (H27)	増減 ②-①	胆 江	回 数	5	3	7	4	受講者	1,103	190	531	341	区 分	H25	① H26	②H27	増減 ②-①	(26.3.31)	(27.3.31)	(28.3.31)	胆 江	17	19	19	0	岩手県	334	369	390	39	区 分		肺	子 宮	大 腸	乳	胃	胆 江	H24	40.8	21.5	23.5	19.9	15.2	H25	27.3	27.7	23.9	36.7	14.9	H26	30.1	40.9	32.1	51.4	18.5	岩手県	H24	28.3	27.7	24.1	25.2	17.5	H24	24.6	35.5	24.1	26.8	17.1	H26	25.2	33.5	25.4	23.7	17.6	全 国	H24	17.3	23.5	18.7	17.4	9.0	H25	16.0	31.1	19.0	25.3	9.6	H26	16.1	32.0	19.2	26.1	9.3	<div>（がんの予防）</div> <div>○ がんを誘発する要因の一つでもある喫煙（受動喫煙を含む）について、職場や施設等での禁煙化の推進にあわせて、家庭における禁煙を積極的に進めていく必要があります。</div> <div>○ また、喫煙による妊婦や胎児への影響について、更なる普及啓発が必要です。</div> <div>（がんの早期発見）</div> <div>○ がんの早期発見や、がんの治癒・患者のＱＯＬ確保など、予後の向上を図るため、がん検診の受診率を向上させる必要があります。</div>	<div>（がんの予防）</div> <div>○ 喫煙（受動喫煙を含む）をテーマとする出前講座を引き続き継続します。</div> <div>○ 若年期における喫煙によって生じる健康被害について、防煙教室を開催し児童・学生等への理解促進に努めます。</div> <div>○ 食品営業許可講習会時に禁煙店登録事業をPRするなど禁煙に対する更なる普及啓発活動に取組みます。</div> <div>（がんの早期発見）</div> <div>○ 市町や企業・保険者などが、検診の意義や必要性に関する普及啓発を引き続き実施します。</div> <div>○ 検診申込みの連絡がなかった世帯への電話や訪問などによる個別の働きかけなど、状況に応じた様々な取組に努めます。</div> <div>（がん医療）</div> <div>○ がんの種類や進行度に応じた医療機関の機能の分担や連携を図ります。</div>	<div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ がん医科歯科連携 がん患者の口腔管理と口腔トラブルの軽減を目指し、手術を実施する医科病院（歯科を持たない病院）と連携</div> <div>○ 胆沢病院（毎週木曜日）、江刺病院（隔週木曜日）NST 回診参加</div> <div>○ 胆沢病院 NST 勉強会、NST 症例検討会への参加</div> <div>○ 江刺区地域医療福祉懇話会への参加（取組項目全般に係る多職種連携）</div> <div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 奥州市禁煙支援事業「薬局と連携した禁煙教育」への協力 実施人数 12 人、禁煙者率 58.3%</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 薬局と連携した個別禁煙応援事業の実施（参加 12 名、うち禁煙達成者 7 名）</div> <div>○ 禁煙週間に合わせたHP による普及啓発（5 月末～6 月末）</div> <div>○ 乳幼児健診を利用した保護者へのがん検診の必要性についての啓発（通年 4 か月児健康診査、1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査時リーフレット配布及び健康教育実施）</div> <div>○ 肺がん検診受診者への禁煙リーフレット配付による啓発（検診期間）</div> <div>○ ピンクリボン運動による啓発</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ がん検診の実施（胃 1,808 人、大腸 2,503 人、肺 2,804 人、子宮 854 人、乳 831 人、前立腺 540 人）</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ がん治療に係る基本的医療機能の確保・充実 手術、放射線、化学療法の実施、内視鏡手術支援ロボットの整備・使用開始</div> <div>○ 関係する医療機能等の確保・充実 緩和ケア、外来化学療法、院内がん登録・地域がん登録の実施、推進・相談支援対応、がん患者・家族サロン（患者や家族への心のケア）の実施、健康講演会の開催</div>	<div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ がん医科歯科連携</div> <div>○ 胆沢病院、江刺病院 NST 回診参加</div> <div>○ 胆沢病院 NST 勉強会、症例検討会へ参加</div> <div>○ 江刺区地域医療福祉懇話会への参加（取組項目全般に係る多職種連携）</div> <div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 奥州市禁煙支援事業「薬局と連携した禁煙教育」への協力</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 薬局と連携した個別禁煙応援事業の実施（定員 20 名）</div> <div>○ 禁煙週間に合わせたHP による普及啓発（5 月末～6 月末）</div> <div>○ 乳幼児健診を利用した保護者へのがん検診の必要性についての啓発（通年）</div> <div>○ 肺がん検診受診者への禁煙リーフレット配付による啓発（検診期間）</div> <div>○ ピンクリボン運動による啓発</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ がんに関する医療セミナーの開催（1 回）</div> <div>○ がん検診の実施</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ がん治療に係る基本的医療機能の確保・充実 手術、放射線、化学療法の実施</div> <div>○ 関係する医療機能等の確保・充実 緩和ケア、外来化学療法、院内がん登録・地域がん登録の実施・推進、相談支援対応、がん患者・家族サロン（患者や家族への心のケア）の実施、健康講演会の開催</div>
区 分	H25 (H24)	H26 (H25)	H27① (H26)	H28② (H27)	増減 ②-①																																																																																																																											
胆 江	452 (25.6)	507 (28.5)	491 (25.5)	536 (29.1)	45 (3.6)																																																																																																																											
岩手県	4,241 (26.4)	4,296 (26.9)	4,307 (26.5)	4,404 (26.7)	97 (0.2)																																																																																																																											
禁煙マスター（保健所長等）による禁煙教室																																																																																																																																
区 分	禁 煙 教 室	H25 (H25)	①H26 (H26)	②H27 (H27)	増減 ②-①																																																																																																																											
胆 江	回 数	5	3	7	4																																																																																																																											
	受講者	1,103	190	531	341																																																																																																																											
区 分	H25	① H26	②H27	増減 ②-①																																																																																																																												
	(26.3.31)	(27.3.31)	(28.3.31)																																																																																																																													
胆 江	17	19	19	0																																																																																																																												
岩手県	334	369	390	39																																																																																																																												
区 分		肺	子 宮	大 腸	乳	胃																																																																																																																										
胆 江	H24	40.8	21.5	23.5	19.9	15.2																																																																																																																										
	H25	27.3	27.7	23.9	36.7	14.9																																																																																																																										
	H26	30.1	40.9	32.1	51.4	18.5																																																																																																																										
岩手県	H24	28.3	27.7	24.1	25.2	17.5																																																																																																																										
	H24	24.6	35.5	24.1	26.8	17.1																																																																																																																										
	H26	25.2	33.5	25.4	23.7	17.6																																																																																																																										
全 国	H24	17.3	23.5	18.7	17.4	9.0																																																																																																																										
	H25	16.0	31.1	19.0	25.3	9.6																																																																																																																										
	H26	16.1	32.0	19.2	26.1	9.3																																																																																																																										

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																								
(がんの医療体制)	<div>(がん医療) ○ がん診療連携拠点病院数（人口 100 万対 厚生労働省とりまとめ 毎年）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 (24.4)</td><td>H25 (25.4)</td><td>①H26 (26.4)</td><td>② H27 (27.4)</td><td>増 減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>1 (7.2)</td><td>1 (7.3)</td><td>1 (7.3)</td><td>1 (7.0)</td><td>0 (0.3)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>9 (6.9)</td><td>9 (7.0)</td><td>10 (7.8)</td><td>10 (8.0)</td><td>0 (0.2)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>397 (3.1)</td><td>397 (3.1)</td><td>— (—)</td><td>— (—)</td><td>— (—)</td></tr></table>	区 分	H24 (24.4)	H25 (25.4)	①H26 (26.4)	② H27 (27.4)	増 減 ②-①	胆 江	1 (7.2)	1 (7.3)	1 (7.3)	1 (7.0)	0 (0.3)	岩手県	9 (6.9)	9 (7.0)	10 (7.8)	10 (8.0)	0 (0.2)	全 国	397 (3.1)	397 (3.1)	— (—)	— (—)	— (—)	<div>(がん医療) ○ 患者に切れ目のない医療を提供していくため、急性期を担う医療機関と急性期以後を担う医療機関との医療連携が必要です。 ○ 在宅療養を支えるため、医療と介護の連携を行う必要があります。</div>		<div>【奥州病院】 ○ 急性期医療機関との連携 ○ 緩和ケア治療の実施 ○ 各種がん健診精密検査の実施 ○ 地域がん登録事業への参画  【美希病院】 ○ がん診療連携拠点病院等と地域医療機関との連携 ○ 禁煙に関する意識調査と啓発活動  【奥州市国保まごころ病院】 ○ 奥州市の前立腺がん検診を受託(8/1～10/31) 実績 64 件 ○ 県立胆沢病院との間で地域連携クリティカルパスを運用(肺がん)  【県立江刺病院】 ○ 外来化学療法の実施継続 ○ 緩和ケア認定看護師配置によるカウンセリング等患者サポートを継続 ○ 終末期医療について、希望者に在宅訪問診療を実施 ○ 生活習慣病全般に関する市民向け公開講演会の開催（6 月、11 月、2 月）  【奥州保健所】 ○ 出前講座（禁煙）の実施（通年） ○ 禁煙店登録事業の実施（通年） ○ 禁煙マスターによる禁煙教室等の開催（通年） ○ 世界禁煙週間に合わせた普及啓発の実施（5 月） ○ 平成 26 年度生活習慣アンケート結果の各学校への還元</div>	<div>【奥州病院】 ○ 急性期医療機関との連携 ○ 緩和ケア治療の実施 ○ 各種がん健診精密検査の実施 ○ 地域がん登録事業への参画  【美希病院】 ○ がん診療連携拠点病院等と地域医療機関との連携 ○ 禁煙に関する意識調査と啓発活動  【奥州市国保まごころ病院】 ○ 奥州市の前立腺がん検診を受託(6/1～8/31) ○ 県立胆沢病院との間で地域連携クリティカルパスを運用(肺がん)  【県立江刺病院】 ○ 外来化学療法の実施継続 ○ 緩和ケア認定看護師配置によるカウンセリング等患者サポートを継続 ○ 終末期医療について、希望者に在宅訪問診療を継続 ○ 生活習慣病全般に関する市民向け公開講演会の開催（6 月、11 月、2 月）  【奥州保健所】 ○ 出前講座（禁煙）の実施（通年） ○ 禁煙店登録事業の実施（通年） ○ 禁煙マスターによる禁煙教室等の開催（通年） ○ 世界禁煙週間に合わせた普及啓発の実施（5 月） ○ 平成 27 年度生活習慣アンケート結果の各学校への還元</div>
区 分	H24 (24.4)	H25 (25.4)	①H26 (26.4)	② H27 (27.4)	増 減 ②-①																								
胆 江	1 (7.2)	1 (7.3)	1 (7.3)	1 (7.0)	0 (0.3)																								
岩手県	9 (6.9)	9 (7.0)	10 (7.8)	10 (8.0)	0 (0.2)																								
全 国	397 (3.1)	397 (3.1)	— (—)	— (—)	— (—)																								

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																					
脳卒中の医療体制	<div>（概況）胆江圏域における脳血管疾患による死亡者数における（人口動態統計、厚生労働省 毎年調査）</div> <table><tr><th></th><th>全 体</th><th>脳梗塞</th><th>脳内出血</th><th>くも膜下出血</th><th>その他</th></tr><tr><td>H24 (H23)</td><td>255 人【13. 3%】</td><td>176 人 (69. 0%)</td><td>53 人 (20. 8%)</td><td>23 人 (9. 0%)</td><td>3 人 (1. 2%)</td></tr><tr><td>H25 (H24)</td><td>253 人【14. 3%】</td><td>157 人 (62. 1%)</td><td>66 人 (26. 1%)</td><td>27 人 (10. 7%)</td><td>3 人 (1. 2%)</td></tr><tr><td>H26 (H25)</td><td>233 人【13. 1%】</td><td>140 人 (60. 1%)</td><td>65 人 (27. 9%)</td><td>24 人 (10. 3%)</td><td>4 人 (1. 7%)</td></tr><tr><td>H27 (H26)</td><td>222 人【11. 6%】</td><td>150 人 (67. 6%)</td><td>49 人 (22. 1%)</td><td>20 人 (9. 0%)</td><td>3 人 (1. 4%)</td></tr><tr><td>H28 (H27)</td><td>218 人【11. 4%】</td><td>148 人 (67. 9%)</td><td>45 人 (20. 6%)</td><td>21 人 (9. 6%)</td><td>4 人 (1. 8%)</td></tr></table> <div>【 】内数値は、胆江管内の全死亡数に占める脳血管疾患による死亡数の割合、（ ）内数値は、脳血管疾患による全死亡数に占める死因別割合</div> <div>（応急手当、病院前救護の状況）</div> <div>○ 救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間（救急・救助の現況岩手県調べ 毎年調査）《再掲》 単位：分</div> <table><tr><th>区 分</th><th>① H24 (H23)</th><th>② H27 (H26)</th><th>増減 ②-①</th><th rowspan="4">備 考</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>43. 2</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>40. 5</td><td>41. 3</td><td>0. 8</td></tr><tr><td>全 国</td><td>38. 1</td><td>36. 8</td><td>△1. 3</td></tr></table>		全 体	脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他	H24 (H23)	255 人【13. 3%】	176 人 (69. 0%)	53 人 (20. 8%)	23 人 (9. 0%)	3 人 (1. 2%)	H25 (H24)	253 人【14. 3%】	157 人 (62. 1%)	66 人 (26. 1%)	27 人 (10. 7%)	3 人 (1. 2%)	H26 (H25)	233 人【13. 1%】	140 人 (60. 1%)	65 人 (27. 9%)	24 人 (10. 3%)	4 人 (1. 7%)	H27 (H26)	222 人【11. 6%】	150 人 (67. 6%)	49 人 (22. 1%)	20 人 (9. 0%)	3 人 (1. 4%)	H28 (H27)	218 人【11. 4%】	148 人 (67. 9%)	45 人 (20. 6%)	21 人 (9. 6%)	4 人 (1. 8%)	区 分	① H24 (H23)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	43. 2	—	—	岩手県	40. 5	41. 3	0. 8	全 国	38. 1	36. 8	△1. 3	<div>（概況）</div> <div>○ 脳血管疾患による死亡者の割合が多いことから、引き続き若年期から食生活の改善、喫煙防止等の生活習慣病予防に取り組むことが必要です。</div> <div>（応急手当、病院前救護の状況）</div> <div>○ 当圏域は、平成 23 年度から脳神経外科領域における手術適応者を中部、両磐の医療圏へ救急搬送するケースが多いことから、覚知から医療機関収容するまでに時間を要する原因となっています。</div>	<div>（概況）</div> <div>○ 減塩食の普及により食生活の改善に取り組めます。</div> <div>○ 児童、学生等を対象に健康講話を開催し、若年期からの生活習慣病予防にする正しい知識の普及などに努めます。</div> <div>○ 危険因子の一つである肥満に対し、若年期からのメタボリックシンドロームを予防するため、幼稚園、保育所、学校等との連携を図りながら、個別指導を実施するなどの肥満対策に取り組めます。</div> <div>○ 喫煙（受動喫煙を含む）をテーマとする出前講座を引き続き継続するとともに、食品営業許可講習会時に禁煙店登録事業を PR するなど禁煙に対する更なる普及啓発活動に取り組めます。</div> <div>（応急手当、病院前救護の状況）</div> <div>○ 救急搬送については、胆江メディカルコントロール協議会により定められた手順に則し、適切な観察・判断・処置を実施するとともに、急性期医療を担う医療機関に搬送します。</div>	<div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 県南広域脳卒中予防推進協議会奥州部会への出席</div> <div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 服薬指導時の降圧剤の服用状況の確認と指導と生活指導</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 特定健診結果相談会（7 月～2 月 41 回実施、341 人参加）</div> <div>○ 健診事後訪問（高血圧所見者）指導事業（5 月～6 月：99 人 10 月～3 月：73 人）</div> <div>○ 出前健康講座「脳卒中予防」「高血圧予防」（通年 計 22 回、287 人参加）</div> <div>○ 正しい血圧の計り方の普及（通年）</div> <div>○ 生活習慣病予防教室（前期：4 コース、2 会場、延 93 人（実人員 27 人）3 回コース、後期 5 コース、2 会場、延 110 人（実人員 25 人）</div> <div>○ 【新規】健康まるごと講座 脳卒中の予防等（10 地区、21 階、617 人）</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ 脳卒中に関する医療セミナー（H28. 1、100 人）</div> <div>○ 特定健診（1, 302 人）、特定保健指導（32 人）実施</div> <div>○ 慢性腎臓病健診による推定食塩量算定（1, 990 人）</div> <div>○ かるしおレシピ研修会、試食会（27 回、1, 282 人）</div> <div>○ かるしおレシピ普及講演会（町主催 3 回 68 人）</div> <div>○ ノルディックウォーキングフェスタ in 金ケ崎（10 月 220 人）</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 来院者等への脳卒中予防に関する意識啓発</div> <div>○ 急性期に係る基本的医療機能等の確保・充実</div> <div>○ 脳内血腫摘出手術、脳動脈瘤クリッピング手術</div> <div>○ 回復期に係る基本的医療機能等の確保・充実</div> <div>○ 奥州地域医療連携研究会の開催（年 3 回）</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 急性期医療機関との連携</div> <div>○ 頭部 C T 遠隔読影診断の実施</div> <div>○ 脳血管疾患等リハビリテーションの実施</div> <div>○ 地域脳卒中登録事業への参画</div>	<div>【奥州歯科医師会】</div> <div>○ 県南広域脳卒中予防推進協議会奥州部会への出席</div> <div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 服薬指導時の降圧剤の服用状況の確認と指導と生活指導</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 特定健診結果相談会</div> <div>○ 健診事後訪問指導事業</div> <div>○ 出前健康講座「脳卒中予防」「高血圧予防」（通年）</div> <div>○ 正しい血圧の計り方の普及（通年）</div> <div>○ 生活習慣病予防教室（前期、後期）</div> <div>○ 【新規】健康まるごと講座 脳卒中の予防等（10 地区）</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ 特定健診、特定保健指導実施</div> <div>○ 慢性腎臓病健診による推定食塩量推定</div> <div>○ かるしおレシピ講習会・試食会（18 回）</div> <div>○ 出前講座</div> <div>○ ノルディックウォーキングフェスタ in 金ケ崎の開催</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 来院者等への脳卒中予防に関する意識啓発</div> <div>○ 急性期に係る基本的医療機能等の確保・充実</div> <div>○ 脳内血腫摘出手術、脳動脈瘤クリッピング手術</div> <div>○ 回復期に係る基本的医療機能等の確保・充実</div> <div>○ 奥州地域医療連携研究会の開催（年 3 回）</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 急性期医療機関との連携</div> <div>○ 頭部 C T 遠隔読影診断の実施</div> <div>○ 脳血管疾患等リハビリテーションの実施</div> <div>○ 地域脳卒中登録事業への参画</div>
	全 体	脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	その他																																																					
H24 (H23)	255 人【13. 3%】	176 人 (69. 0%)	53 人 (20. 8%)	23 人 (9. 0%)	3 人 (1. 2%)																																																					
H25 (H24)	253 人【14. 3%】	157 人 (62. 1%)	66 人 (26. 1%)	27 人 (10. 7%)	3 人 (1. 2%)																																																					
H26 (H25)	233 人【13. 1%】	140 人 (60. 1%)	65 人 (27. 9%)	24 人 (10. 3%)	4 人 (1. 7%)																																																					
H27 (H26)	222 人【11. 6%】	150 人 (67. 6%)	49 人 (22. 1%)	20 人 (9. 0%)	3 人 (1. 4%)																																																					
H28 (H27)	218 人【11. 4%】	148 人 (67. 9%)	45 人 (20. 6%)	21 人 (9. 6%)	4 人 (1. 8%)																																																					
区 分	① H24 (H23)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																						
胆 江	43. 2	—	—																																																							
岩手県	40. 5	41. 3	0. 8																																																							
全 国	38. 1	36. 8	△1. 3																																																							

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																																																																												
(脳卒中の医療体制)	<div>(脳卒中の医療：急性期医療)</div> <div>○ 人口 10 万人あたり「神経内科医師数」 (医師・歯科医師・薬剤師調査、厚生労働省 2 年毎調査)</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 (H22)</td><td>① H25 (H24)</td><td>② H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>2 (1.4)</td><td>1 (0.7)</td><td>0 (―)</td><td>△1 (△0.7)</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>66 (5.0)</td><td>67 (5.1)</td><td>72 (5.5)</td><td>5 (0.4)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>4,094 (3.2)</td><td>4,361 (3.4)</td><td>― (―)</td><td>― (―)</td></tr></table> <div>○ 人口 10 万人あたり「脳神経外科医師数」 (医師・歯科医師・薬剤師調査、厚生労働省 2 年毎調査)</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 (H22)</td><td>① H25 (H24)</td><td>② H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>5 (3.5)</td><td>4 (2.9)</td><td>5 (3.6)</td><td>1 (0.7)</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>83 (6.2)</td><td>82 (6.3)</td><td>87 (6.6)</td><td>5 (0.3)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>6,695 (5.3)</td><td>6,976 (5.5)</td><td>― (―)</td><td>― (―)</td></tr></table> <div>○ 脳梗塞に対する t-PA による脳血栓溶解療法の実施可能な病院数（診療報酬施設基準）（人口 1 万対） 調査周期：各年 1 月 1 日</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24</td><td>H25</td><td>①H26</td><td>②H27</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>― (―)</td><td>1 (7.3)</td><td>1 (7.3)</td><td>1 (7.0)</td><td>0 (0.3)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>9 (6.9)</td><td>9 (7.0)</td><td>9 (7.0)</td><td>9 (7.0)</td><td>0 (0.0)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>736 (5.8)</td><td>771 (6.1)</td><td>― (―)</td><td>― (―)</td><td>― (―)</td></tr></table> <div>(脳卒中の医療：回復期医療)</div> <div>○ 胆江圏域の脳卒中患者における平均在院日数（患者調査、厚生労働省 3 年毎調査）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (H23)</td><td>①H 27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>210.8</td><td>92.7</td><td>118.1</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>118.3</td><td>85.9</td><td>32.4</td></tr><tr><td>全 国</td><td>97.4</td><td>―</td><td>―</td></tr></table> <div>○ 医療連携クリティカルパスに基づく診療計画作成等の実施（脳梗塞 平成 20 年 3 月開始 出典：奥州地域医療連携研究会資料）</div> <table><tr><td>区分</td><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>計</td></tr><tr><td>胆江</td><td>36</td><td>26</td><td>7</td><td>10</td><td>11</td><td>13</td><td>12</td><td>18</td><td>11</td><td>119</td></tr></table> <div>※H28.1.31 現在</div>	区 分	H24 (H22)	① H25 (H24)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	2 (1.4)	1 (0.7)	0 (―)	△1 (△0.7)		岩手県	66 (5.0)	67 (5.1)	72 (5.5)	5 (0.4)	全 国	4,094 (3.2)	4,361 (3.4)	― (―)	― (―)	区 分	H24 (H22)	① H25 (H24)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	5 (3.5)	4 (2.9)	5 (3.6)	1 (0.7)		岩手県	83 (6.2)	82 (6.3)	87 (6.6)	5 (0.3)	全 国	6,695 (5.3)	6,976 (5.5)	― (―)	― (―)	区 分	H24	H25	①H26	②H27	増減 ②-①	胆 江	― (―)	1 (7.3)	1 (7.3)	1 (7.0)	0 (0.3)	岩手県	9 (6.9)	9 (7.0)	9 (7.0)	9 (7.0)	0 (0.0)	全 国	736 (5.8)	771 (6.1)	― (―)	― (―)	― (―)	区 分	① H 24 (H23)	①H 27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	210.8	92.7	118.1		岩手県	118.3	85.9	32.4	全 国	97.4	―	―	区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計	胆江	36	26	7	10	11	13	12	18	11	119	<div>(脳卒中の医療：急性期医療)</div> <div>○ 神経内科、脳神経外科に係る病院勤務医の不足しているなか、発症から可能な限り、速やかに診断・治療を行うことが重要であることから、神経内科や脳神経外科などの急性期の治療を行う専門的な医師の育成・確保や、偏在の解消が早急に求められます。</div> <div>(脳卒中の医療：回復期医療)</div> <div>○ 脳卒中に関する医療連携クリティカルパスの見直しなどを行いながら、クリティカルパスの普及に努める必要があります。</div> <div>(脳卒中の医療：維持期医療)</div> <div>○ 在宅患者が安心して療養生活を送ることができるよう、医療と介護サービスに関する情報の取得を支援する必要があります。</div>	<div>(脳卒中の医療：急性期医療)</div> <div>○ 引き続き、急性期の脳卒中の治療を行える医師の確保に努めます。</div> <div>○ 脳梗塞に対する t-PA による脳血栓溶解療法が適切にされる実施体制の整備を促進します。</div> <div>(脳卒中の医療：維持期医療)</div> <div>○ 在宅生活における介護支援等の相談先についてなど、住民が必要とする情報に関するリーフレットの配布等により住民への周知を図ります。</div>	<div>【美希病院】</div> <div>○ 食と健康まつりによる無料身体測定、減塩食等の体験（2 月）</div> <div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 手術を伴わない脳卒中患者の入院診療を実施</div> <div>○ 脳卒中患者登録の継続</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ 県南広域脳卒中予防推進協議会の開催（5 月）</div> <div>○ 出前講座（生活習慣病予防）の実施（事業所 611 人）</div> <div>○ 脳卒中予防の住民アプローチ（通年）</div> <div>○ 薬局への血圧計の設置（8 ケ所）</div> <div>○ 給食施設、飲食店等におけるかるしおメニューの提供支援講習会の開催（8 月、2 月）</div> <div>○ 生活習慣病予防に向けた専門研修会の開催（7 月、10 月）</div> <div>○ ショッピングセンターや関係団体と協同した普及啓発（7 月、8 月、9 月、10 月、11 月、1 月、3 月）</div> <div>○ 「健康経営」について、事業主訪問や労働基準協会とタイアップしたパンフレット配布・講話による普及の実施</div>	<div>【美希病院】</div> <div>○ 食と健康まつりによる無料身体測定、減塩食等の体験</div> <div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 手術を伴わない脳卒中患者の入院診療を継続実施</div> <div>○ 脳卒中患者登録の継続</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ 県南広域脳卒中予防推進協議会の開催（5 月）</div> <div>○ 出前講座（生活習慣病予防）の実施（通年）</div> <div>○ 「健康経営」について、事業主訪問や労働基準協会とタイアップしたパンフレット配布・講話による普及の実施</div> <div>○ 働き盛り支援健康づくりシンポジウムの開催（7 月）</div> <div>○ 脳卒中予防健康寸劇コンテストの開催（6 月）</div> <div>○ ショッピングセンターや関係団体と協同した普及啓発（6 月、7 月、9 月、11 月）</div>
区 分	H24 (H22)	① H25 (H24)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																																																																												
胆 江	2 (1.4)	1 (0.7)	0 (―)	△1 (△0.7)																																																																																																													
岩手県	66 (5.0)	67 (5.1)	72 (5.5)	5 (0.4)																																																																																																													
全 国	4,094 (3.2)	4,361 (3.4)	― (―)	― (―)																																																																																																													
区 分	H24 (H22)	① H25 (H24)	② H27 (H26)	増減 ②-①		備 考																																																																																																											
胆 江	5 (3.5)	4 (2.9)	5 (3.6)	1 (0.7)																																																																																																													
岩手県	83 (6.2)	82 (6.3)	87 (6.6)	5 (0.3)																																																																																																													
全 国	6,695 (5.3)	6,976 (5.5)	― (―)	― (―)																																																																																																													
区 分	H24	H25	①H26	②H27		増減 ②-①																																																																																																											
胆 江	― (―)	1 (7.3)	1 (7.3)	1 (7.0)	0 (0.3)																																																																																																												
岩手県	9 (6.9)	9 (7.0)	9 (7.0)	9 (7.0)	0 (0.0)																																																																																																												
全 国	736 (5.8)	771 (6.1)	― (―)	― (―)	― (―)																																																																																																												
区 分	① H 24 (H23)	①H 27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																																																																													
胆 江	210.8	92.7	118.1																																																																																																														
岩手県	118.3	85.9	32.4																																																																																																														
全 国	97.4	―	―																																																																																																														
区分	H20	H21	H22		H23	H24	H25	H26	H27	H28	計																																																																																																						
胆江	36	26	7	10	11	13	12	18	11	119																																																																																																							



	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																																																
急性心筋梗塞の医療体制	<p>（概況）</p> <p>○ 胆江圏域における急性心筋梗塞死亡者数（人口動態統計、厚生労働省）</p> <p>単位：人、下段()は全死亡原因に占める割合</p> <table><tr><td>区 分</td><td>H 25 (H24)</td><td>H 26 (H25)</td><td>H27① (H26)</td><td>H28② (H27)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>116 (6.5)</td><td>102 (5.7)</td><td>109 (5.7)</td><td>103 (5.6)</td><td>6 (-0.1)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>478 (3.0)</td><td>484 (3.0)</td><td>457 (2.8)</td><td>439 (2.7)</td><td>18 (-0.1)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>42,107 (3.4)</td><td>39,956 (3.2)</td><td>38,991 (3.1)</td><td>- (-)</td><td>- (-)</td></tr></table> <p>（急性心筋梗塞の予防）</p> <p>○ 岩手県では、「健康いわて 21 プラン」に基づき、急性心筋梗塞予防を図るため、喫煙対策や食生活の改善、運動習慣の定着等の普及啓発などの取組を進めてきました。</p> <p>○ 胆江圏域においても、禁煙マスター（保健所長等）による禁煙教室の開催《再掲》</p> <p>禁煙マスター（保健所長等）による禁煙教室</p> <table><tr><td>区 分</td><td>禁 煙 教 室</td><td>H25 (H25)</td><td>①H26 (H26)</td><td>②H27 (H27)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td rowspan="2">胆 江</td><td>回 数</td><td>5</td><td>3</td><td>7</td><td>4</td></tr><tr><td>受講者</td><td>1,103</td><td>190</td><td>531</td><td>341</td></tr></table> <p>○ 禁煙を実施する飲食店等《再掲》</p> <table><tr><td rowspan="2">区 分</td><td>H25</td><td>① H26</td><td>②H27</td><td>増減</td></tr><tr><td>(26.3.31)</td><td>(27.3.31)</td><td>(28.3.31)</td><td>②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>17</td><td>19</td><td>19</td><td>0</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>334</td><td>369</td><td>390</td><td>39</td></tr></table> <p>（応急手当、病院前救護の状況）</p> <p>○ 救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間（救急・救助の現況岩手県調べ 毎年調査）《再掲》 単位：分</p> <table><tr><td rowspan="2">区 分</td><td>① H24</td><td>② H27</td><td>増減</td><td rowspan="2">備 考</td></tr><tr><td>(H23)</td><td>(H26)</td><td>②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>43.2</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>40.5</td><td>41.3</td><td>0.8</td></tr><tr><td>全 国</td><td>38.1</td><td>36.8</td><td>△1.3</td></tr></table>	区 分	H 25 (H24)	H 26 (H25)	H27① (H26)	H28② (H27)	増減 ②-①	胆 江	116 (6.5)	102 (5.7)	109 (5.7)	103 (5.6)	6 (-0.1)	岩手県	478 (3.0)	484 (3.0)	457 (2.8)	439 (2.7)	18 (-0.1)	全 国	42,107 (3.4)	39,956 (3.2)	38,991 (3.1)	- (-)	- (-)	区 分	禁 煙 教 室	H25 (H25)	①H26 (H26)	②H27 (H27)	増減 ②-①	胆 江	回 数	5	3	7	4	受講者	1,103	190	531	341	区 分	H25	① H26	②H27	増減	(26.3.31)	(27.3.31)	(28.3.31)	②-①	胆 江	17	19	19	0	岩手県	334	369	390	39	区 分	① H24	② H27	増減	備 考	(H23)	(H26)	②-①	胆 江	43.2	—	—		岩手県	40.5	41.3	0.8	全 国	38.1	36.8	△1.3	<p>（急性心筋梗塞の予防）</p> <p>○ 急性心筋梗塞を誘発する要因の一つでもある喫煙（受動喫煙を含む）について、職場や施設等での禁煙化の推進にあわせて、家庭における禁煙を積極的に進めていく必要があります。</p> <p>（急性心筋梗塞の予防）</p> <p>○ 喫煙（受動喫煙を含む）をテーマとする出前講座を引き続き継続するとともに、リーフレットを配布するなど、禁煙に対する更なる普及啓発活動に取り組めます。</p> <p>○ 危険因子の一つである肥満に対し、若年期からのメタボリックシンドロームを予防するため、幼稚園、保育所、学校等との連携を図りながら、個別指導を実施するなどの肥満対策に取り組めます。</p> <p>○ メタボリックシンドロームの知識の普及及び予防についての出前講座を継続して取り組めます。</p> <p>（応急手当、病院前救護の状況）</p> <p>○ 近隣の A E D の設置場所を知っておくことの重要性を周知するとともに個々の家庭への A E D 普及は現段階では難しいことから、家庭で発症した場合における心肺蘇生法に対する理解促進のための普及啓発に努めます。</p> <p>（急性心筋梗塞の医療：急性期・亜急性期）</p> <p>○ 急性期における専門的な診断・治療を担う医療機関の機能充実と医療連携体制の構築を促進します。</p> <p>○ 急性心筋梗塞の急性期リハビリテーションは、患者の長期予後の改善に有効とされていることから、十分なリスク管理のもとでの急性期リハビリテーションの実施について、一層の普及に努めます。</p>	<p>【奥州市】</p> <p>○ 《再掲》特定健診結果相談会（7 月～2 月 41 回実施、341 人参加）</p> <p>【県立胆沢病院】</p> <p>○ 来院者等への急性心筋梗塞等心疾患予防に関する意識啓発</p> <p>○ 急性期・亜急性期に係る基本的医療機能等の確保・充実</p> <p>○ P C I、内科的治療の実施</p> <p>○ 急性期リハビリの実施、再発時の対応の本人・家族等への教育・啓発</p> <p>○ 回復期に係る基本的医療機能等の確保・充実</p> <p>運動療法によるリハビリ、電気的除細動による対応、急性期医療機関との連携、再発時の対応の本人・家族等への教育・啓発、再発時に急性期医療機関への受診勧奨について助言</p> <p>○ 慢性期・安定期（再発予防）に係る基本的医療機能等の確保・充実、心電図・胸部 X 線・心エコー検査の実施、運動療法によるリハビリ、電気的除細動による対応、急性期医療機関との連携、再発時の対応の本人・家族等への教育・啓発、再発時に急性期医療機関への受診勧奨について助言</p> <p>【奥州病院】</p> <p>○ 急性期医療機関との連携</p> <p>【県立江刺病院】</p> <p>○ 初期診療の実施</p> <p>○ 心臓カテーテルによる検査及び手術を伴う患者を早期紹介による転医</p>	<p>【奥州市】</p> <p>○ 特定健診結果相談会</p> <p>【県立胆沢病院】</p> <p>○ 来院者等への急性心筋梗塞等心疾患予防に関する意識啓発</p> <p>○ 急性期・亜急性期に係る基本的医療機能等の確保・充実</p> <p>○ P C I、内科的治療の実施</p> <p>○ 急性期リハビリの実施、再発時の対応の本人・家族等への教育・啓発</p> <p>○ 回復期に係る基本的医療機能等の確保・充実</p> <p>運動療法によるリハビリ、電気的除細動による対応、急性期医療機関との連携、再発時の対応の本人・家族等への教育・啓発、再発時に急性期医療機関への受診勧奨について助言</p> <p>○ 慢性期・安定期（再発予防）に係る基本的医療機能等の確保・充実、心電図・胸部 X 線・心エコー検査の実施、運動療法によるリハビリ、電気的除細動による対応、急性期医療機関との連携、再発時の対応の本人・家族等への教育・啓発、再発時に急性期医療機関への受診勧奨について助言</p> <p>【奥州病院】</p> <p>○ 急性期医療機関との連携</p> <p>【県立江刺病院】</p> <p>○ 初期診療の実施</p> <p>○ 心臓カテーテルによる検査及び手術を伴う患者を早期紹介による転医</p>
区 分	H 25 (H24)	H 26 (H25)	H27① (H26)	H28② (H27)	増減 ②-①																																																																																
胆 江	116 (6.5)	102 (5.7)	109 (5.7)	103 (5.6)	6 (-0.1)																																																																																
岩手県	478 (3.0)	484 (3.0)	457 (2.8)	439 (2.7)	18 (-0.1)																																																																																
全 国	42,107 (3.4)	39,956 (3.2)	38,991 (3.1)	- (-)	- (-)																																																																																
区 分	禁 煙 教 室	H25 (H25)	①H26 (H26)	②H27 (H27)	増減 ②-①																																																																																
胆 江	回 数	5	3	7	4																																																																																
	受講者	1,103	190	531	341																																																																																
区 分	H25	① H26	②H27	増減																																																																																	
	(26.3.31)	(27.3.31)	(28.3.31)	②-①																																																																																	
胆 江	17	19	19	0																																																																																	
岩手県	334	369	390	39																																																																																	
区 分	① H24	② H27	増減	備 考																																																																																	
	(H23)	(H26)	②-①																																																																																		
胆 江	43.2	—	—																																																																																		
岩手県	40.5	41.3	0.8																																																																																		
全 国	38.1	36.8	△1.3																																																																																		

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																										
（急性心筋梗塞の医療体制）	<div>（急性心筋梗塞の医療：急性期・亜急性期）</div> <div>○ 胆江圏域の人口 10 万人あたり「循環器内科医師数」（医師・歯科医師・薬剤師調査、厚生労働省）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 (H22)</td><td>①H25 (H24)</td><td>②H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>7. 1</td><td>6. 5</td><td>7. 9</td><td>1. 4</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>8. 5</td><td>8. 3</td><td>9. 0</td><td>0. 7</td></tr><tr><td>全 国</td><td>8. 6</td><td>9. 1</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> <div>（急性心筋梗塞の医療：回復期）</div> <div>○ 胆江圏域の急性心筋梗塞患者の平均在院日数（患者調査）</div> <div>単位：日</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (H23)</td><td>② H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>4. 7</td><td>4. 6</td><td>△0. 1</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>10. 3</td><td>6. 1</td><td>△4. 2</td></tr><tr><td>全 国</td><td>9. 4</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> <div>（急性心筋梗塞の再発予防：慢性期、安定期）</div> <div>○ 在宅生活の場に復帰した患者の割合（同個票解析）</div> <div>単位：％</div> <table><tr><td>区 分</td><td>①H 24 (H20)</td><td>②H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>84. 0</td><td>91. 9</td><td>7. 9</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>89. 1</td><td>91. 0</td><td>1. 9</td></tr><tr><td>全 国</td><td>92. 8</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>	区 分	H24 (H22)	①H25 (H24)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	7. 1	6. 5	7. 9	1. 4		岩手県	8. 5	8. 3	9. 0	0. 7	全 国	8. 6	9. 1	－	－	区 分	① H 24 (H23)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	4. 7	4. 6	△0. 1	3 年毎調査	岩手県	10. 3	6. 1	△4. 2	全 国	9. 4	－	－	区 分	①H 24 (H20)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	84. 0	91. 9	7. 9	3 年毎調査	岩手県	89. 1	91. 0	1. 9	全 国	92. 8	－	－	<div>（急性心筋梗塞の医療：急性期・亜急性期）</div> <div>○ 急性心筋梗塞に対応する医師が十分とはいえない中、急性期における専門的な診断・治療を行う医療機関の機能の充実と医療連携体制の充実に努める必要があります。</div> <div>（急性心筋梗塞の医療：回復期）</div> <div>○ 患者の長期予後改善には、生活習慣の改善指導とともに、合併症や再発予防、在宅復帰のための心臓リハビリテーションの実施が重要であり、その普及が求められています。</div> <div>（急性心筋梗塞の再発予防：慢性期、安定期）</div> <div>○ 慢性期・安定期においては、再発防止のための定期的な外来診療等により生活習慣の改善指導や基礎疾患の管理を行う体制が必要です。</div>	<div>○ 急性期、回復期、慢性期に応じた医療を提供できるよう、個々の医療機関の機能や役割に応じた診療情報や治療計画を相互に共有する医療連携クリティカルパスの導入に努めます。</div> <div>（急性心筋梗塞の医療：回復期）</div> <div>○ 心臓リハビリテーションを提供できる外来型心臓リハビリテーションや運動療法の普及に努めます。</div> <div>（急性心筋梗塞の再発予防：慢性期、安定期）</div> <div>○ 【再掲】急性期、回復期、慢性期に応じた医療を提供できるよう、個々の医療機関の機能や役割に応じた診療情報や治療計画を相互に共有する医療連携クリティカルパスの導入を検討します。</div> <div>（糖尿病の予防）</div> <div>○ メタボリックシンドロームの知識の普及及び予防についての出前講座を継続して取組みます。</div>		
区 分	H24 (H22)	①H25 (H24)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																										
胆 江	7. 1	6. 5	7. 9	1. 4																																																											
岩手県	8. 5	8. 3	9. 0	0. 7																																																											
全 国	8. 6	9. 1	－	－																																																											
区 分	① H 24 (H23)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																											
胆 江	4. 7	4. 6	△0. 1	3 年毎調査																																																											
岩手県	10. 3	6. 1	△4. 2																																																												
全 国	9. 4	－	－																																																												
区 分	①H 24 (H20)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																											
胆 江	84. 0	91. 9	7. 9	3 年毎調査																																																											
岩手県	89. 1	91. 0	1. 9																																																												
全 国	92. 8	－	－																																																												
（糖尿病の医療体制）	<div>（概況）</div> <div>○ 岩手県における 40 歳から 74 歳の糖尿病有病者・予備群は、22. 8 万人（有病者 5. 2 万人、予備群 17. 6 万人）と推定されており、人口の 18%程度となっています。</div> <div>また、糖尿病と診断された者のうち、現在治療を受けている者の割合が 49. 0%、以前に治療を受けたが、現在治療を受けていない者の割合が 8. 5%、ほとんど治療を受けたことがない者の割合が 39. 9%で、糖尿病と診断された者のうち、半数近くが糖尿病の治療を行っていない状況です。</div> <div>（平成 24 年度県民生活習慣実態調査、健康国保課）</div>																																																														

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																						
(糖尿病の医療体制)	<p>（初期、安定期治療）</p> <p>○ 胆江圏域の糖尿病専門医は、１人となっています。</p> <p>○ 糖尿病内科（代謝内科）医師数（医師・歯科医師・薬剤師調査、厚生労働省 ２年毎調査）</p> <table><tr><th>区 分</th><th>H24 (H22)</th><th>①H25 (H24)</th><th>②H27 (H26)</th><th>増減 ②-①</th><th>備 考</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>1 (0.7)</td><td>1 (0.7)</td><td>1 (0.7)</td><td>0 (0)</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>23 (1.7)</td><td>28 (2.1)</td><td>26 (2.0)</td><td>△2 (△0.1)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>3,488 (2.8)</td><td>3,967 (3.1)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <p>○ 糖尿病の治療・指導を実施している病院（医療機能調査）</p> <p>単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</p> <table><tr><th>区 分</th><th>① H 24 24.6.1</th><th>備 考</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>7 (5.0)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>68 (5.2)</td></tr></table> <p>○ 糖尿病の治療・指導を実施している診療所（医療機能調査）</p> <p>単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</p> <table><tr><th>区 分</th><th>① H 24 24.6.1</th><th>備 考</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>36 (25.9)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>322 (24.7)</td></tr></table> <p>（専門治療、急性増悪時治療）</p> <p>○ 糖尿病教室を実施している病院数（医療機能調査）</p> <p>単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</p> <table><tr><th>区 分</th><th>① H 24 (24.6.1)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>2 (1.4)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>23 (1.8)</td></tr></table> <p>○ 糖尿病教室を実施している診療所数（医療機能調査）</p> <p>単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</p> <table><tr><th>区 分</th><th>① H 24 (24.6.1)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>5 (3.6)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>21 (1.6)</td></tr></table> <p>○ 糖尿病の急性増悪時治療を実施している医療機関数（人口 10 万対）（平成 25 年医療施設調査、厚生労働省）は、胆江圏域は 2.9 箇所（岩手県 2.5 箇所）であり、岩手県平均と同等となっています。</p>	区 分	H24 (H22)	①H25 (H24)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	1 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.7)	0 (0)		岩手県	23 (1.7)	28 (2.1)	26 (2.0)	△2 (△0.1)	全 国	3,488 (2.8)	3,967 (3.1)	－ (－)	－ (－)	区 分	① H 24 24.6.1	備 考	胆 江	7 (5.0)		岩手県	68 (5.2)	区 分	① H 24 24.6.1	備 考	胆 江	36 (25.9)		岩手県	322 (24.7)	区 分	① H 24 (24.6.1)	備 考	胆 江	2 (1.4)		岩手県	23 (1.8)	区 分	① H 24 (24.6.1)	備 考	胆 江	5 (3.6)		岩手県	21 (1.6)	<p>（初期、安定治療）</p> <p>○ 糖尿病及びその合併症は、長期にわたる治療の継続が必要であることから、病気の治療や健康相談に応じるかかりつけ医による疾病管理が重要です。</p> <p>○ また、かかりつけ歯科医による合併症の予防管理が重要です。</p> <p>（専門治療、急性増悪時治療）</p> <p>○ 血糖コントロールが不良な状態にある糖尿病患者は、教育入院やインスリン治療などの専門治療が必要であり、また、急性合併症を発症した場合には、早期に集中的な治療が必要となることから、かかりつけ医、専門医療機関及び合併症医療機関の連携が必要です。</p> <p>○ 胆江圏域では、糖尿病に関する医療機能をもつ医療機関が多く、今後、クリティカルパスの導入について検討を進める必要があります。</p>	<p>（初期、安定治療）</p> <p>○ 住民に対し、糖尿病の治療や合併症に関する正しい知識と、医療機関への上手なかかり方（かかりつけ医師、かかりつけ歯科医師の必要性）についての普及啓発を推進します。</p> <p>（専門治療、急性増悪時治療）</p> <p>○ 糖尿病に係る医療連携を図り、機能に応じた医療サービスを切れ目なく提供するため、医療連携クリティカルパスの導入を推進します。</p> <p>（慢性合併症治療）</p> <p>○ 【再掲】糖尿病に係る医療連携を図り、機能に応じた医療サービスを切れ目なく提供するため、地域連携クリティカルパスの導入を推進します。</p> <p>○ 糖尿病患者における歯周病の発症を防ぐため、糖尿病治療を実施する医療機関と歯科医療機関との連携を推進します。</p>	<p>【奥州薬剤師会】</p> <p>○ 服薬指導時の糖尿病薬の服薬状況の確認と指導と生活指導</p> <p>【奥州市】</p> <p>○ 《再掲》特定健診結果相談会（7 月～2 月 41 回実施、341 人参加）</p> <p>○ 健診事後訪問指導事業（5 月～6 月：99 人、10 月～3 月：73 人）</p> <p>○ 出前講座「脳卒中予防」「高血圧予防」（通年 計 22 回、287 人）</p> <p>○ 正しい血圧の計り方の普及（通年）</p> <p>○ 生活習慣病予防教室</p> <p>前期：4 回コース、2 会場 実 27 人、延 93 人 後期：6 回コース、2 会場、実 38 人、延 208 人</p> <p>○ 健康まるごと講座 脳卒中の予防等（10 地区、21 回、617 人）</p> <p>【金ケ崎町】</p> <p>○ 糖尿病教室の開催（6 回 32 人）</p> <p>【県立胆沢病院】</p> <p>○ 初期・安定期治療に係る医療機能の確保・充実</p> <p>○ 専門治療に係る基本的医療機能等の確保・充実、糖尿病教育入院、低血糖時及びシックデイへの対応</p> <p>○ 急性増悪時治療に係る医療機能の確保・充実</p> <p>○ 慢性合併症治療に係る医療機能の確保・充実</p> <p>糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害</p> <p>【奥州市総合水沢病院】</p> <p>○ ひたか会（糖尿病の予防及び治療に関する勉強会、講演会）の開催（3 回（7、11、3 月）68 人）</p> <p>【奥州病院】</p> <p>○ 急性期医療機関及び地域医療機関との連携</p> <p>○ 糖尿病外来の実施</p> <p>○ 人工透析治療の実施</p> <p>【美山病院】</p> <p>○ 病院イベントの際、栄養指導ブースを作り指導</p>	<p>【奥州薬剤師会】</p> <p>○ 服薬指導時の糖尿病薬の服薬状況の確認と指導と生活指導</p> <p>【奥州市】</p> <p>○ 特定健診結果相談会</p> <p>○ 健診事後訪問指導事業</p> <p>○ 出前講座「脳卒中予防」「高血圧予防」（通年）</p> <p>○ 正しい血圧の計り方の普及（通年）</p> <p>○ 生活習慣病予防教室</p> <p>○ 健康まるごと講座 脳卒中の予防等（10 地区）</p> <p>【金ケ崎町】</p> <p>○ 糖尿病教室の開催</p> <p>○ 糖尿病に関する医療セミナーの開催（１回）</p> <p>【県立胆沢病院】</p> <p>○ 初期・安定期治療に係る医療機能の確保・充実</p> <p>○ 専門治療に係る基本的医療機能等の確保・充実、糖尿病教育入院、低血糖時及びシックデイへの対応</p> <p>○ 急性増悪時治療に係る医療機能の確保・充実</p> <p>○ 慢性合併症治療に係る医療機能の確保・充実</p> <p>糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害</p> <p>【奥州市総合水沢病院】</p> <p>○ ひたか会（糖尿病の予防及び治療に関する勉強会、講演会）の開催（年 3 回）</p> <p>○ 岩手医大教授による糖尿病市民講演会の開催（11 月）</p> <p>【奥州病院】</p> <p>○ 急性期医療機関及び地域医療機関との連携</p> <p>○ 糖尿病外来の実施</p> <p>○ 人工透析治療の実施</p> <p>【美山病院】</p> <p>○ 病院イベントの際、栄養指導ブース*を作り指導</p> <p>○ 地域イベントへの参加・指導</p>
区 分	H24 (H22)	①H25 (H24)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																						
胆 江	1 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.7)	0 (0)																																																							
岩手県	23 (1.7)	28 (2.1)	26 (2.0)	△2 (△0.1)																																																							
全 国	3,488 (2.8)	3,967 (3.1)	－ (－)	－ (－)																																																							
区 分	① H 24 24.6.1	備 考																																																									
胆 江	7 (5.0)																																																										
岩手県	68 (5.2)																																																										
区 分	① H 24 24.6.1	備 考																																																									
胆 江	36 (25.9)																																																										
岩手県	322 (24.7)																																																										
区 分	① H 24 (24.6.1)	備 考																																																									
胆 江	2 (1.4)																																																										
岩手県	23 (1.8)																																																										
区 分	① H 24 (24.6.1)	備 考																																																									
胆 江	5 (3.6)																																																										
岩手県	21 (1.6)																																																										

(初期、安定治療)

○ 糖尿病及びその合併症は、長期にわたる治療の継続が必要であることから、病気の治療や健康相談に応じるかかりつけ医による疾病管理が重要です。

○ また、かかりつけ歯科医による合併症の予防管理が重要です。

(専門治療、急性増悪時治療)

○ 血糖コントロールが不良な状態にある糖尿病患者は、教育入院やインスリン治療などの専門治療が必要であり、また、急性合併症を発症した場合には、早期に集中的な治療が必要となることから、かかりつけ医、専門医療機関及び合併症医療機関の連携が必要です。

○ 胆江圏域では、糖尿病に関する医療機能をもつ医療機関が多く、今後、クリティカルパスの導入について検討を進める必要があります。

(初期、安定治療)

○ 住民に対し、糖尿病の治療や合併症に関する正しい知識と、医療機関への上手なかかり方（かかりつけ医師、かかりつけ歯科医師の必要性）についての普及啓発を推進します。

(専門治療、急性増悪時治療)

○ 糖尿病に係る医療連携を図り、機能に応じた医療サービスを切れ目なく提供するため、医療連携クリティカルパスの導入を推進します。

(慢性合併症治療)

○ 【再掲】糖尿病に係る医療連携を図り、機能に応じた医療サービスを切れ目なく提供するため、地域連携クリティカルパスの導入を推進します。

○ 糖尿病患者における歯周病の発症を防ぐため、糖尿病治療を実施する医療機関と歯科医療機関との連携を推進します。

【奥州薬剤師会】

○ 服薬指導時の糖尿病薬の服薬状況の確認と指導と生活指導

【奥州市】

○ 《再掲》特定健診結果相談会（7 月～2 月 41 回実施、341 人参加）

○ 健診事後訪問指導事業（5 月～6 月：99 人、10 月～3 月：73 人）

○ 出前講座「脳卒中予防」「高血圧予防」（通年 計 22 回、287 人）

○ 正しい血圧の計り方の普及（通年）

○ 生活習慣病予防教室  
前期：4 回コース、2 会場 実 27 人、延 93 人  
後期：6 回コース、2 会場、実 38 人、延 208 人

○ 健康まるごと講座 脳卒中の予防等（10 地区、21 回、617 人）

【金ケ崎町】

○ 糖尿病教室の開催（6 回 32 人）

【県立胆沢病院】

○ 初期・安定期治療に係る医療機能の確保・充実

○ 専門治療に係る基本的医療機能等の確保・充実、糖尿病教育入院、低血糖時及びシックデイへの対応

○ 急性増悪時治療に係る医療機能の確保・充実

○ 慢性合併症治療に係る医療機能の確保・充実  
糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害

【奥州市総合水沢病院】

○ ひたか会（糖尿病の予防及び治療に関する勉強会、講演会）の開催（3 回（7、11、3 月）68 人）

【奥州病院】

○ 急性期医療機関及び地域医療機関との連携

○ 糖尿病外来の実施

○ 人工透析治療の実施

【美山病院】

○ 病院イベントの際、栄養指導ブースを作り指導

○ 地域イベントへの参加・指導

○ 地域イベントへの参加・指導

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																				
(糖尿病の医療体制)	<div>(慢性合併症治療)</div> <div>○ 糖尿病性腎症に対する人工透析を実施している病院 (医療機能調査) 単位：施設、( )書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (24. 6. 1)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>5 (3. 6)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>25 (1. 9)</td></tr></table> <div>○ 糖尿病性腎症に対する人工透析を実施している診療所 (医療機能調査) 単位：施設、( )書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (24. 6. 1)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>3 (2. 2)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>26 (2. 0)</td></tr></table> <div>○ 糖尿病網膜症に係る治療を実施している病院数 (医療機能調査) 単位：施設、( )書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (24. 6. 1)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>3 (2. 2)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>26 (2. 0)</td></tr></table> <div>○ 糖尿病足病変に関する指導を実施する医療機関数 (診療報酬施設基準) 単位：施設、()書は人口 10 万対 調査周期：各年 1 / 1</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H 24</td><td>H25</td><td>①H26</td><td>②H 27</td><td>増 減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>2 (1. 4)</td><td>3 (2. 2)</td><td>3 (2. 1)</td><td>3 (2. 2)</td><td>0 (0. 1)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>28 (2. 1)</td><td>32 (2. 5)</td><td>33 (2. 5)</td><td>36 (2. 8)</td><td>3 (0. 3)</td></tr></table> <div>○ 糖尿病登録歯科医療機関数 ( (社)日本糖尿病協会 HP) 単位：施設、( )書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 H24. 11</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>10 (7. 2)</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>97 (7. 4)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>3, 645 (2. 9)</td></tr></table>	区 分	① H 24 (24. 6. 1)	備 考	胆 江	5 (3. 6)		岩手県	25 (1. 9)	区 分	① H 24 (24. 6. 1)	備 考	胆 江	3 (2. 2)		岩手県	26 (2. 0)	区 分	① H 24 (24. 6. 1)	備 考	胆 江	3 (2. 2)		岩手県	26 (2. 0)	区 分	H 24	H25	①H26	②H 27	増 減 ②-①	胆 江	2 (1. 4)	3 (2. 2)	3 (2. 1)	3 (2. 2)	0 (0. 1)	岩手県	28 (2. 1)	32 (2. 5)	33 (2. 5)	36 (2. 8)	3 (0. 3)	区 分	① H 24 H24. 11	備 考	胆 江	10 (7. 2)		岩手県	97 (7. 4)	全 国	3, 645 (2. 9)	<div>(慢性合併症治療)</div> <div>○ 糖尿病性腎症や糖尿病性網膜症などの、慢性合併症の早期発見・早期治療のためには、糖尿病に関する各診療科目の医療機関と連携し、治療にあたることが重要です。</div> <div>○ 歯周病は、糖尿病の合併症の一つと言われており、糖尿病に罹ることは歯周病を発症しやすくなる危険があることから、歯科医療機関との連携が必要です。</div>		<div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 日本糖尿病学会教育認定施設認定による糖尿病外来の継続</div> <div>○ 糖尿病検査 C G M の実施</div> <div>○ 糖尿病外来の設置 (毎週火曜日・午後)</div> <div>○ 糖尿病教室の開催 (毎月第 3 木曜日・午後) (参加者延べ 200 名)</div> <div>○ 糖尿病友の会を 4 月に設立・運営への協力</div> <div>○ インスリンポンプによる治療</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ 児童、生徒等向け健康講話の開催 (高 1 校 110 人)</div> <div>○ 幼稚園、保育所の保護者等への普及啓発の実施 (1 回、20 人)</div> <div>○ 生活習慣病に係る出前講座の実施(17 事業所、611 人)</div>	<div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 日本糖尿病学会教育認定施設認定による糖尿病外来の継続</div> <div>○ 糖尿病検査 C G M の実施</div> <div>○ 糖尿病外来の継続 (毎週火曜日・午後)</div> <div>○ 糖尿病教室の開催継続(毎月第 3 木曜日・午後)</div> <div>○ 糖尿病友の会の運営協力の継続</div> <div>○ インスリンポンプによる治療</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ 児童、生徒等向け健康講話の開催 (通年)</div> <div>○ 幼稚園、保育所の保護者等への普及啓発の実施 (通年)</div> <div>○ 生活習慣病に係る出前講座の実施 (通年)</div>
区 分	① H 24 (24. 6. 1)	備 考																																																							
胆 江	5 (3. 6)																																																								
岩手県	25 (1. 9)																																																								
区 分	① H 24 (24. 6. 1)	備 考																																																							
胆 江	3 (2. 2)																																																								
岩手県	26 (2. 0)																																																								
区 分	① H 24 (24. 6. 1)	備 考																																																							
胆 江	3 (2. 2)																																																								
岩手県	26 (2. 0)																																																								
区 分	H 24	H25	①H26	②H 27	増 減 ②-①																																																				
胆 江	2 (1. 4)	3 (2. 2)	3 (2. 1)	3 (2. 2)	0 (0. 1)																																																				
岩手県	28 (2. 1)	32 (2. 5)	33 (2. 5)	36 (2. 8)	3 (0. 3)																																																				
区 分	① H 24 H24. 11	備 考																																																							
胆 江	10 (7. 2)																																																								
岩手県	97 (7. 4)																																																								
全 国	3, 645 (2. 9)																																																								



	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																																																							
精神疾患の医療体制	<div>（概況）</div> <div>○ 精神科病院入院患者数</div> <div>（岩手県調べ平成 24 年 3 月末現在）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (H23)</td><td colspan="4">備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>246</td><td colspan="4" rowspan="2">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>3, 821</td></tr></table> <div>○ 通院医療費公費負担受給者数</div> <div>（岩手県調べ 平成 24 年 3 月末現在）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H 24 (H23)</td><td>H 25 (H24)</td><td>①H 26 (H25)</td><td>②H 27 (H26)</td><td>増 減 ②－①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>1, 562</td><td>1, 494</td><td>1, 627</td><td>1, 723</td><td>96</td><td rowspan="2">3 年毎 調 査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>16, 442</td><td>16, 649</td><td>17, 532</td><td>18, 429</td><td>897</td></tr></table> <div>○ 精神科医師数（医師、歯科医師、薬剤師調査 2 年毎調査）</div> <div>（人口 10 万人当たり）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H24 (22. 12. 31)</td><td>② H25 (24. 12. 31)</td><td>増減 ②-①</td><td>備考</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>116 (8. 7)</td><td>124 (9. 5)</td><td>8 (0. 8)</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>全 国</td><td>15, 599 (12. 3)</td><td>14, 733 (11. 6)</td><td>△866 (△0. 7)</td></tr></table> <div>（自殺死亡の状況）</div> <div>○ 自殺者数（人口動態調査 毎年調査）</div> <div>（人口 10 万対）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H 25 (H24)</td><td>H26 (H25)</td><td>① H27 (H26)</td><td>②H28 (H27)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>37 (18. 0)</td><td>37 (26. 9)</td><td>33 (24. 2)</td><td>29 (21. 9)</td><td>△4 (△2. 3)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>340 (25. 2)</td><td>340 (26. 3)</td><td>341 (26. 5)</td><td>297 (23. 2)</td><td>△44 (△16. 7)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>26, 433 (21. 0)</td><td>26, 063 (20. 5)</td><td>24, 417 (19. 5)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <div>（震災こころのケア活動）</div> <div>○ 震災後に内陸部へ避難してきた避難者世帯数（人数）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H 24 (24. 11 末)</td><td>①H26 (H26)</td><td>②H28 (29. 1 末)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>奥州市</td><td>142 (313)</td><td>100 (214)</td><td>22 (50)</td><td>△78 (△164)</td></tr><tr><td>金ケ崎町</td><td>33 (60)</td><td>23 (41)</td><td>5 (7)</td><td>△18 (△34)</td></tr></table>	区 分	① H 24 (H23)	備 考				胆 江	246	3 年毎調査				岩手県	3, 821	区 分	H 24 (H23)	H 25 (H24)	①H 26 (H25)	②H 27 (H26)	増 減 ②－①	備 考	胆 江	1, 562	1, 494	1, 627	1, 723	96	3 年毎 調 査	岩手県	16, 442	16, 649	17, 532	18, 429	897	区 分	① H24 (22. 12. 31)	② H25 (24. 12. 31)	増減 ②-①	備考	岩手県	116 (8. 7)	124 (9. 5)	8 (0. 8)		全 国	15, 599 (12. 3)	14, 733 (11. 6)	△866 (△0. 7)	区 分	H 25 (H24)	H26 (H25)	① H27 (H26)	②H28 (H27)	増減 ②-①	胆 江	37 (18. 0)	37 (26. 9)	33 (24. 2)	29 (21. 9)	△4 (△2. 3)	岩手県	340 (25. 2)	340 (26. 3)	341 (26. 5)	297 (23. 2)	△44 (△16. 7)	全 国	26, 433 (21. 0)	26, 063 (20. 5)	24, 417 (19. 5)	－ (－)	－ (－)	区 分	H 24 (24. 11 末)	①H26 (H26)	②H28 (29. 1 末)	増減 ②-①	奥州市	142 (313)	100 (214)	22 (50)	△78 (△164)	金ケ崎町	33 (60)	23 (41)	5 (7)	△18 (△34)	<div>（精神科医療の状況）</div> <div>○ 精神科専門医への受診について、患者及び家族の理解を促進する必要があります。</div> <div>○ 一般内科から精神科に紹介された場合、受診までの時間を要する場合があります。</div> <div>（精神科救急医療体制の状況）</div> <div>○ 精神疾患を有する救急患者を受け入れる医療機関の調整に時間を要する場合があります。</div> <div>（自殺死亡の状況）</div> <div>○ 胆江圏域における人口 10 万対の自殺者は、平成 25 年は 26.9 人で、岩手県の 26.3 人、全国の 20.5 人よりも多い状況でしたが、平成 26 年、27 年と、岩手県よりも少なくなり改善しました。</div> <div>また、自殺者の半数以上はうつ病等の精神疾患に罹患していたとされ、より一層のうつ病対策を進める必要があります。</div> <div>○ 胆江圏域の自殺死亡者を性・年齢別にみると（平成 18 年～平成 22 年合計）男性は働きざかり壮年層（50 歳代男性）、女性は高齢者層（80 歳代以上女性）が多い状況にあります。</div> <div>（震災こころのケア活動）</div> <div>○ 引き続き、沿岸からの避難者や地元被災者等へのこころのケアが必要な状況にあります。</div>	<div>（精神科医療の状況）</div> <div>○ 地域や職場において、精神疾患に関する理解を促進します。</div> <div>○ うつ病などの精神疾患を有する患者が適切な医療を受けられるよう一般医と精神科医との連携のあり方について検討します。</div> <div>（精神科救急医療施設体制の状況）</div> <div>○ 胆江圏域では、常時対応病院が 1 箇所（県立南光病院）、協力病院が 1 箇所（胆江病院）、輪番病院が無い状況にあり、救急時の対応について円滑に行われるよう関係者との連携を深めるとともに、県レベルでの検討を求めています。</div> <div>（自殺死亡の状況）</div> <div>○ 自殺対策アクションプランに基づき、市町、事業所等の関係機関と連携した取り組みを推進します。</div> <div>○ 特に自殺死亡率の高い 50 歳代男性及び 70 歳代以上の女性への取組みを強化します。</div> <div>○ うつの相談体制の充実を図るとともに、医療機関との連携を強化し、うつ病の早期発見・早期治療を促進します。</div> <div>○ 自分自身及び身近な人の心の健康づくりに積極的に取り組めるよう市町、事業所等と連携し、出前講座やゲートキーパー養成研修を通じて、うつの正しい理解についての普及啓発を図ります。</div>	<div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 会員を対象にゲートキーパー養成研修会の開催（37 人参加）</div> <div>○ 薬の相談窓口の充実、心の相談窓口への紹介</div> <div>○ 相談窓口リーフレットの配置</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ こころの健康教室（38 回、953 人）</div> <div>○ こころの健康相談（延べ 1, 347 人）</div> <div>○ 家族のためのうつ病教室（5 回コース、実 5 人、延 24 人）</div> <div>○ 50 歳のうつスクリーニングの実施 対象 649 人、返信 144 人（返信率 18. 7%） 要フォロー者 47 人（返信者に対するフォロー率 32. 6%）</div> <div>○ 相談窓口、医療機関の周知（リーフレットの関係機関配置）</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ 自殺対策推進協議会開催（7 月、11 月、1 月、3 月）</div> <div>○ ゲートキーパー養成講座（H27. 4～H28. 3 月 9 回、160 人）</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ 県南地域精神科救急医療体制連絡調整委員会の開催（12 月）</div> <div>○ 胆江地域自殺対策推進連絡会議の開催（3 月）</div> <div>○ 胆江地域「かかりつけ医と精神科医のうつ病連携システム」の整備（H26 年 4 月稼働）</div> <div>○ 自死遺族交流会の開催（6 回開催 参加者総数 10 名）</div>	<div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 会員を対象にゲートキーパー養成研修会を開催</div> <div>○ 薬の相談窓口の充実、心の相談窓口への紹介</div> <div>○ 相談窓口リーフレットの配置</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ こころの健康教室（通年）</div> <div>○ こころの健康相談（通年）</div> <div>○ 家族のためのうつ病教室</div> <div>○ 50 歳のうつスクリーニング</div> <div>○ 相談窓口、医療機関の周知（リーフレットの関係機関配置）</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ 自殺対策推進協議会開催</div> <div>○ ゲートキーパー養成講座（通年）</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ 県南地域精神科救急医療体制連絡調整委員会の開催（11 月）</div> <div>○ 胆江地域自殺対策推進連絡会議の開催（2 月）</div> <div>○ 胆江地域「かかりつけ医と精神科医のうつ病連携システム」の継続運用</div> <div>○ 自死遺族交流会の開催（6 回開催） 自死遺族合同交流会の開催 （1 回開催：中部、奥州、一関）</div>
区 分	① H 24 (H23)	備 考																																																																																										
胆 江	246	3 年毎調査																																																																																										
岩手県	3, 821																																																																																											
区 分	H 24 (H23)	H 25 (H24)	①H 26 (H25)	②H 27 (H26)	増 減 ②－①	備 考																																																																																						
胆 江	1, 562	1, 494	1, 627	1, 723	96	3 年毎 調 査																																																																																						
岩手県	16, 442	16, 649	17, 532	18, 429	897																																																																																							
区 分	① H24 (22. 12. 31)	② H25 (24. 12. 31)	増減 ②-①	備考																																																																																								
岩手県	116 (8. 7)	124 (9. 5)	8 (0. 8)																																																																																									
全 国	15, 599 (12. 3)	14, 733 (11. 6)	△866 (△0. 7)																																																																																									
区 分	H 25 (H24)	H26 (H25)	① H27 (H26)	②H28 (H27)	増減 ②-①																																																																																							
胆 江	37 (18. 0)	37 (26. 9)	33 (24. 2)	29 (21. 9)	△4 (△2. 3)																																																																																							
岩手県	340 (25. 2)	340 (26. 3)	341 (26. 5)	297 (23. 2)	△44 (△16. 7)																																																																																							
全 国	26, 433 (21. 0)	26, 063 (20. 5)	24, 417 (19. 5)	－ (－)	－ (－)																																																																																							
区 分	H 24 (24. 11 末)	①H26 (H26)	②H28 (29. 1 末)	増減 ②-①																																																																																								
奥州市	142 (313)	100 (214)	22 (50)	△78 (△164)																																																																																								
金ケ崎町	33 (60)	23 (41)	5 (7)	△18 (△34)																																																																																								

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																																												
精神疾患の医療体制（認知症）	<div>（認知症の現状）</div> <div>○ 認知症高齢者数（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者数）（平成 24 年 8 月厚生労働省推計）</div> <div>（単位：万人）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 22（推計）</td><td>② H27（推計）</td><td>③H32（推計）</td><td>③H37（推計）</td></tr><tr><td>全 国</td><td>280</td><td>345</td><td>410</td><td>470</td></tr><tr><td>増 減</td><td>—</td><td>65</td><td>65</td><td>60</td></tr></table> <div>○ 介護保険の第 1 号被保険者（65 歳以上）のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の者（認知症高齢者等の日常生活自立度調査（岩手県実施））</div> <div>単位：千人</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 3 月</td><td>H25 3 月</td><td>H26 3 月</td><td>H27 3 月</td><td>H28 3 月</td><td>備 考</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>38</td><td>40</td><td>42</td><td>44</td><td>45</td><td>年々増加傾向</td></tr></table> <div>○ 第 2 号被保険者（40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者）で、同Ⅱ以上の者（認知症高齢者等の日常生活自立度調査（岩手県実施））</div> <div>単位：人</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 3 月</td><td>H25 3 月</td><td>H26 3 月</td><td>H27 3 月</td><td>H28 3 月</td><td>備 考</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>789</td><td>765</td><td>739</td><td>741</td><td>745</td><td></td></tr></table> <div>（認知症の予防と早期対応）</div> <div>○ 胆江圏域における認知症キャラバンメイト（※1）及び認知症サポーター（※2）数</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H25（25.3 末）</td><td>② H27（27.6 末）</td><td>増減 ②-①</td><td>備考</td></tr><tr><td>奥州市</td><td>8,272（6.8）</td><td>9,400（7.7）</td><td>1,128（0.9）</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>金ケ崎町</td><td>867（5.4）</td><td>1,280（7.9）</td><td>413（2.5）</td></tr></table> <div>※1 認知症キャラバンメイト ＝ 認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を地域住民等へ伝える講師役。認知症サポーター養成講座を開き、習得した知識や体験などを地域、職域、学校などの場において住民へ伝え「認知症サポーター」を要請するボランティア。</div> <div>※2 認知症サポーター ＝ 認知症に対する正しい知識と理解をもち、地域や職場で認知症の人や家族に対して出来る範囲で手助けを行う人。</div> <div>○ 認知症サポート医養成研修修了者数（事業報告）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24（H23）</td><td>② H25（H25）</td><td>H26（H26）</td><td>H27（H27）</td><td>増 減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>0</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>△1</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>35</td><td>44</td><td>10</td><td>27</td><td>17</td></tr></table>	区 分	① H 22（推計）	② H27（推計）	③H32（推計）	③H37（推計）	全 国	280	345	410	470	増 減	—	65	65	60	区 分	H24 3 月	H25 3 月	H26 3 月	H27 3 月	H28 3 月	備 考	岩手県	38	40	42	44	45	年々増加傾向	区 分	H24 3 月	H25 3 月	H26 3 月	H27 3 月	H28 3 月	備 考	岩手県	789	765	739	741	745		区 分	① H25（25.3 末）	② H27（27.6 末）	増減 ②-①	備考	奥州市	8,272（6.8）	9,400（7.7）	1,128（0.9）		金ケ崎町	867（5.4）	1,280（7.9）	413（2.5）	区 分	① H 24（H23）	② H25（H25）	H26（H26）	H27（H27）	増 減 ②-①	備 考	胆 江	0	3	2	1	△1		岩手県	35	44	10	27	17	<div>（認知症の予防と早期対応）</div> <div>○ 認知症に対する正しい理解の促進に努める必要があります。</div> <div>○ 今後も認知症サポーターの養成を推進するとともに、地域で自主的にボランティアや見守り活動に取り組んでいくことが重要です。</div> <div>（認知症の医療）</div> <div>○ 認知症者の家族は、様々な周辺症状に困っている例が多いことから、更に、医療や介護等の支援の充実を図る必要があります。</div>	<div>（認知症の予防と早期対応）</div> <div>○ 地域ごとに、認知症に対する知識や予防に関する定例教室の開催する等、住民への普及啓発を促進します。</div> <div>○ 認知症高齢者やその家族等が地域で安心して暮らせるように、認知症キャラバンメイトが中心となって、各地域において認知症サポーターを養成し、地域での見守り体制が図られるように努めます。</div> <div>（認知症の医療）</div> <div>○ 早期発見、診断・治療を推進するため、今後も、かかりつけ医認知症対応力向上研修や認知症サポート医の充実、医療と介護の連携等に取り組んでいきます。</div>	<div>【奥州市】</div> <div>○ 認知症予防健康教育（54 回、1,378 人）</div> <div>○ 徘徊模擬訓練事業</div> <div>○ 認知症カフェ「昔なつかし語らいの会」</div> <div>○ 認知介護者家族交流会「ぬくっこ」（毎月 1 回）</div> <div>○ 認知症サポーター養成講座</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 軽度なうつ、認知症の診断及び治療の実施</div> <div>○ 認知症に関する相談、必要時専門医への紹介</div> <div>○ 地域資源マップへの掲載</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 認知症ケアの強化、体制整備</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 軽度なうつ、認知症の診断及び治療の実施</div> <div>○ 認知症に関する相談、必要時専門医への紹介</div> <div>○ 地域資源マップへの掲載</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 認知症患者の入院受入れ</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 認知症患者の入院受入れ</div>
区 分	① H 22（推計）	② H27（推計）	③H32（推計）	③H37（推計）																																																																													
全 国	280	345	410	470																																																																													
増 減	—	65	65	60																																																																													
区 分	H24 3 月	H25 3 月	H26 3 月	H27 3 月	H28 3 月	備 考																																																																											
岩手県	38	40	42	44	45	年々増加傾向																																																																											
区 分	H24 3 月	H25 3 月	H26 3 月	H27 3 月	H28 3 月	備 考																																																																											
岩手県	789	765	739	741	745																																																																												
区 分	① H25（25.3 末）	② H27（27.6 末）	増減 ②-①	備考																																																																													
奥州市	8,272（6.8）	9,400（7.7）	1,128（0.9）																																																																														
金ケ崎町	867（5.4）	1,280（7.9）	413（2.5）																																																																														
区 分	① H 24（H23）	② H25（H25）	H26（H26）	H27（H27）	増 減 ②-①	備 考																																																																											
胆 江	0	3	2	1	△1																																																																												
岩手県	35	44	10	27	17																																																																												

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																						
救急医療の体制	<div>（概況）</div> <div>○ 人口 1 万人当りの救急搬送人員数（救急搬送人員数、都道府県調査）</div> <div>単位：人、（ ）書人口 1 万人対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (H23)</td><td>② H25 (H24)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>4,750 (339)</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>46,763 (356)</td><td>45,184 (347)</td><td>△1,579 (△9)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>—</td><td>5,250,302 (415)</td><td>—</td></tr></table> <div>○ 救急搬送人員のうち軽症者の割合（岩手県調べ）</div> <div>単位：％</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (H23)</td><td>② H25 (H24)</td><td>増減 ②-①</td><td>備考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>32.8</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>42.0</td><td>43.4</td><td>1.4</td></tr><tr><td>全 国</td><td>—</td><td>50.4</td><td>—</td></tr></table> <div>（応急手当、病院前救護の状況）</div> <div>○ 救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間（救急・救助の現況岩手県調べ 毎年調査）《再掲》 単位：分</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H24 (H23)</td><td>② H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>43.2</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>40.5</td><td>41.3</td><td>0.8</td></tr><tr><td>全 国</td><td>38.1</td><td>36.8</td><td>△1.3</td></tr></table> <div>（初期救急医療機関）</div> <div>○ 胆江圏域では、奥州金ヶ崎行政事務組合が開設する「胆江地区休日診療所」で休日に、奥州市が開設する「小児夜間診療所」で小児患者の夜間救急に対応しています。</div> <div>○ また、小児夜間診療所の平成 27 年度の 1 日平均外来患者数は約 5 人となっております（奥州金ヶ崎行政事務組合調べ）</div> <div>（第二次救急医療機関）</div> <div>○ 第二次救急医療の体制として、当圏域では病院群輪番制が整備されており、県立胆沢病院、県立江刺病院、奥州市総合水沢病院、奥州病院が入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れを行っています。</div>	区 分	① H 24 (H23)	② H25 (H24)	増減 ②-①	備 考	胆 江	4,750 (339)	—	—		岩手県	46,763 (356)	45,184 (347)	△1,579 (△9)	全 国	—	5,250,302 (415)	—	区 分	① H 24 (H23)	② H25 (H24)	増減 ②-①	備考	胆 江	32.8	—	—		岩手県	42.0	43.4	1.4	全 国	—	50.4	—	区 分	① H24 (H23)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	43.2	—	—		岩手県	40.5	41.3	0.8	全 国	38.1	36.8	△1.3	<div>（病院前救護活動）</div> <div>○ A E D の設置は年々増加していますが、一般住宅内での発症時にも、A E D が使用できるようにすることが重要です。</div> <div>（初期救急医療機関）</div> <div>○ 小児夜間診療所や輪番病院で対応していますが、緊急医療を要しない患者の受診も見受けられます。</div>	<div>（病院前救護活動）</div> <div>○ 近隣の A E D の設置場所を知っておくことの重要性を周知するとともに個々の家庭への A E D 普及は現段階では難しいことから、家庭で発症した場合における心肺蘇生法に対する理解促進のための普及啓発に努めます。</div> <div>（初期救急医療機関）</div> <div>○ 医療機関の役割に応じた受診や、夜間時の小児救急医療に係る電話相談等の活用について周知を図ります。</div>	<div>【奥州医師会】</div> <div>○ 奥州金ヶ崎休日診療所への医師派遣</div> <div>○ 江刺区休日在宅当番医の日程設定及び調整</div> <div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 胆江地区休日診療所への医師派遣</div> <div>○ 江刺区休日在宅当番医の日程設定及び調整</div> <div>【奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部】</div> <div>○ 救急講習等の実施（延 214 回、5,369 人）</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 病院群輪番制参加</div> <div>○ 二次救急医療体制の確保</div> <div>夜間・休日等の当直医師による診療対応を含む救急医療の対応に必要な医療機能の確保・充実</div> <div>救急救命士に対する病院実習の実施</div> <div>ドクターヘリ対応に向けたヘリポート整備計画の推進</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 二次救急指定医療機関として救急患者の受入れ及び治療</div> <div>○ 胆江地区病院群輪番制事業への参画</div> <div>○ 胆江地域 MC 協議会への参画</div> <div>【美希病院】</div> <div>○ 院内 B L S （一次救命処置）講習の開催（年 4 回）</div> <div>○ 多目的ヘリコプタ（A R H）の活用</div> <div>【奥州市国保まごころ病院】</div> <div>○ 救急指定病院として救急患者の受入れを実施</div> <div>実績 766 件</div> <div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 二次救急医療受入れの継続</div> <div>○ 救急の日「市民公開講座」の実施（9 月 2 日「心肺蘇生法について」</div> <div>【美山病院】</div> <div>○ A E D を使用した訓練</div>	<div>【奥州医師会】</div> <div>○ 奥州金ヶ崎休日診療所への医師派遣</div> <div>○ 奥州金ヶ崎夜間診療所への医師派遣</div> <div>○ 江刺区休日在宅当番医の日程設定及び調整</div> <div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 胆江地区休日診療所への医師派遣</div> <div>○ 江刺区休日在宅当番医の日程設定及び調整</div> <div>【奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部】</div> <div>○ 救急講習等の実施（定期講習）</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 病院群輪番制参加</div> <div>○ 二次救急医療体制の確保</div> <div>夜間・休日等の当直医師による診療対応を含む救急医療の対応に必要な医療機能の確保・充実、救急救命士に対する病院実習の実施</div> <div>次年度のヘリポート整備に向けた協議・対応</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 二次救急指定医療機関として救急患者の受入れ及び治療</div> <div>○ 胆江地区病院群輪番制事業への参画</div> <div>○ 胆江地域 MC 協議会への参画</div> <div>【美希病院】</div> <div>○ 院内 B L S （一次救命処置）講習の継続（新人教育、再講習等（年 4 回）</div> <div>○ 多目的ヘリコプタ（A R H）の活用</div> <div>【奥州市国保まごころ病院】</div> <div>○ 救急指定病院として救急患者の受入れを行う</div> <div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 二次救急医療受入れの継続</div> <div>○ 救急の日「市民公開講座」の実施（9 月 8 日「心肺蘇生法について」）</div> <div>【美山病院】</div> <div>○ A E D を使用した訓練</div>
区 分	① H 24 (H23)	② H25 (H24)	増減 ②-①	備 考																																																							
胆 江	4,750 (339)	—	—																																																								
岩手県	46,763 (356)	45,184 (347)	△1,579 (△9)																																																								
全 国	—	5,250,302 (415)	—																																																								
区 分	① H 24 (H23)	② H25 (H24)	増減 ②-①	備考																																																							
胆 江	32.8	—	—																																																								
岩手県	42.0	43.4	1.4																																																								
全 国	—	50.4	—																																																								
区 分	① H24 (H23)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																							
胆 江	43.2	—	—																																																								
岩手県	40.5	41.3	0.8																																																								
全 国	38.1	36.8	△1.3																																																								

平成 29 年 3 月 13 日					
	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定
				<p>【奥州市】</p> <p>○ 病院群輪番制病院運営費補助</p> <p>【奥州保健所】</p> <p>○ A E D の貸出（年 4 回）</p>	<p>【奥州市】</p> <p>○ 病院群輪番制病院運営費補助</p> <p>○ 私的二次救急医療機関等補助</p> <p>【奥州保健所】</p> <p>○ A E D の貸出（通年）</p>
災害時における医療体制	<p>（概況）</p> <p>○ 胆江圏域では、平成 23～27 年度において医療機関、行政、地域のボランティア団体等から延べ 1,598 人の参加者により、広域的災害医療実地訓練を行い、各機関との連携や、適切な救助・処置についての確認を行ったところです。</p> <p>（災害時拠点病院）</p> <p>○ 胆江圏域では、災害による重篤患者の救命医療等の高度な診療機能を有し、被災地からの患者の受け入れ、広域搬送に係る対応等を行う災害拠点病院として、県立胆沢病院が指定されています。</p> <p>○ また、災害拠点病院では、被災地で救護活動を行う医療班（DMAT〔災害派遣医療チーム〕を含む。）を派遣することとしています。</p>	<p>（概況）</p> <p>○ 地震等の広域的な災害の発生により、負傷者が医療機関に集中した際には、隣接する医療機関との協力体制が必要です。</p> <p>○ 災害を起因とした鬱や PTSD（心的外傷後ストレス障害）等の健康問題が発生した場合に対応したこころのケアの提供体制を整える必要があります。</p>	<p>（概況）</p> <p>○ 災害時において、市町村が設置する救護所や避難所等に、県立病院及び医師会等から構成される医療救護班を派遣し、医療活動を行います。</p> <p>○ 災害時の医療確保に関する訓練を実施します。</p> <p>○ 医療と保健・福祉が連携して被災住民のメンタルケアを行う体制の構築を図ります。</p>	<p>【奥州医師会】</p> <p>○ 奥州市医師会 災害救護時の班編制（9 月に会員異動等の見直し）</p> <p>【奥州市歯科医師会】</p> <p>○ 被災地口腔ケア推進事業：介護老人福祉施設、特別養護老人施設等での口腔ケア</p> <p>【奥州薬剤師会】</p> <p>○ 岩手県総合防災訓練への参加</p> <p>【県立胆沢病院】</p> <p>○ 地域災害拠点病院として必要な医療機能の確保・充実</p> <p>災害急性期の応援派遣被災地で医療活動を行う DMAT を編成（4 チーム）</p> <p>災害医療実地訓練への参画（7 月：岩手県総合防災訓練）</p> <p>【奥州市総合水沢病院】</p> <p>○ 胆江地域災害医療対策連絡会議への参加・協力（開催時）</p> <p>○ 胆江地域災害医療実施訓練への参加・協力（7 月）</p> <p>【奥州病院】</p> <p>○ 災害医療対策会議への参画（5 月、6 月、9 月）</p> <p>○ 災害医療実地訓練への参加（7 月総合防災訓練に地区の訓練内容を追加）</p> <p>○ 平成 27 年度東北ブロック DMAT 参集訓練参加（10 月 3、4 日）</p> <p>【県立江刺病院】</p> <p>○ 胆江地域災害医療実地訓練への参加（7 月 12 日）</p> <p>○ DMAT 受入れ訓練等への参加（10 月 3 日）</p> <p>○ 災害医療に関する研修会の開催（9 月 14 日）</p> <p>○ 災害支援ナースの育成・強化</p>	<p>【奥州医師会】</p> <p>○ 奥州市医師会 災害救護時の班編制（9 月に会員異動等の見直し）</p> <p>【奥州市歯科医師会】</p> <p>○ 災害保医療従事者研修会への参加</p> <p>○ 総合防災訓練へ参加</p> <p>【奥州薬剤師会】</p> <p>○ 災害医療実地訓練への参加</p> <p>【県立胆沢病院】</p> <p>○ 地域災害拠点病院として必要な医療機能の確保・充実</p> <p>災害急性期の応援派遣被災地で医療活動を行う DMAT を編成（4 チーム）</p> <p>災害医療実地訓練への参画（岩手県総合防災訓練等）</p> <p>【奥州市総合水沢病院】</p> <p>○ 胆江地域災害医療対策連絡会議への参加・協力（開催時）</p> <p>○ 胆江地域災害医療実施訓練への参加・協力（7 月）</p> <p>【奥州病院】</p> <p>○ 災害医療対策会議への参画（6 月、8 月、11 月）</p> <p>○ 災害医療実地訓練への参加（11 月）</p> <p>○ 胆江地域災害医療研修会への参加</p> <p>○ EMIS 情報入力訓練への参加</p> <p>【県立江刺病院】</p> <p>○ 胆江地域災害医療実地訓練への参加</p> <p>○ 災害訓練の実施</p> <p>○ 災害支援ナースの育成・強化</p>



	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																														
（災害時における医療体制）				【美山病院】 ○ 災害時対応に係る研修会への参加  【奥州保健所】 ○ 災害医療対策連絡会議の開催（6 月、9 月、12 月） ○ 災害医療実地訓練の実施（9 月）  ○ E M I S 等研修会（9 月 参加者 41 名）	【美山病院】 ○ 災害時対応に係る研修会への参加  【奥州保健所】 ○ 災害医療対策連絡会議の開催（5 月、6 月、9 月） ○ 災害医療実地訓練の実施（7 月：岩手県総合防災訓練に当地区の訓練内容を盛り込み実施） ○ E M I S 研修会（7 月 参加者 12 名）																																														
へき地の医療体制	<p>（概況）</p> <p>○ 医師の不足や偏在に加え、広大な面積を有している岩手県では、21 地区の無医地区(※1) 及び 12 地区の準無医地区(※2)を有していますが、胆江圏域にはこれに該当する無医地区はありません。（H26）</p> <p>※1 無医地区</p> <p>原則として医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として概ね半径 4 km の区域内に 50 人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区</p> <p>※2 準無医地区</p> <p>無医地区ではないが、これに準じて医療の確保が必要と都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議し適当と認めた地区</p> <p>○ へき地診療所数（へき地保健医療対策事業の現状調べ）</p> <p>単位：地区</p> <table><tr><td>区 分</td><td>H 24 (H23)</td><td>H25 (H24)</td><td>①H26 (H25)</td><td>②H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>6</td><td>5</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td rowspan="3">毎年 調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>27</td><td>25</td><td>25</td><td>26</td><td>△1</td></tr><tr><td>全 国</td><td>1, 076</td><td>－</td><td>1, 038</td><td>1, 055</td><td>△21</td></tr></table> <p>○ へき地診療所の医師数（へき地保健医療対策事業の現状調べ）</p> <p>単位：人</p> <table><tr><td>区 分</td><td>H 24 (H23)</td><td>H25 (H24)</td><td>①H26 (H25)</td><td>②H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>2</td><td>2</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>岩手県</td><td>15</td><td>16</td><td>39</td><td>42</td><td>3</td></tr></table>	区 分	H 24 (H23)	H25 (H24)	①H26 (H25)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備考	胆 江	6	5	－	－	－	毎年 調査	岩手県	27	25	25	26	△1	全 国	1, 076	－	1, 038	1, 055	△21	区 分	H 24 (H23)	H25 (H24)	①H26 (H25)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備考	胆 江	2	2	－	－	－		岩手県	15	16	39	42	3	<p>（概況）</p> <p>○ へき地における医師の確保や配置調整が必要です。</p>	<p>（概況）</p> <p>○ へき地における医療の確保については、まず、医師の確保が重要であることから、岩手県全体で医師確保のための様々な施策の取組を実施することにより、へき地を含む圏域全体の医師の確保につとめていきます。</p>	【奥州市】 ○ 江刺区 4 診療所の設置 ○ 衣川区衣川診療所(有床診療所)、衣川歯科診療所の設置  【奥州病院】 ○ 奥州市からの委託による、江刺区内（大田代、米里、伊手、梁川）へき地診療の実施	【奥州市】 ○ 江刺区 4 診療所の設置（年度内に移動診療車導入予定） ○ 衣川区衣川診療所(有床診療所)、衣川歯科診療所の設置  【奥州病院】 ○ 奥州市からの委託による、江刺区内（大田代、米里、伊手、梁川）へき地診療の実施
区 分	H 24 (H23)	H25 (H24)	①H26 (H25)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備考																																													
胆 江	6	5	－	－	－	毎年 調査																																													
岩手県	27	25	25	26	△1																																														
全 国	1, 076	－	1, 038	1, 055	△21																																														
区 分	H 24 (H23)	H25 (H24)	①H26 (H25)	②H27 (H26)	増減 ②-①	備考																																													
胆 江	2	2	－	－	－																																														
岩手県	15	16	39	42	3																																														

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																																																							
周産期医療の体制	<div>（概況）</div> <div>○ 胆江圏域の出生数（人口動態調査、岩手県調査）</div> <div>単位：人、（ ）書人口千対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H25 (H24)</td><td>H26 (H25)</td><td>②H27 (H26)</td><td>H28 (H27)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>1,039 (7.4)</td><td>997 (7.2)</td><td>898 (6.6)</td><td>959 (7.1)</td><td>61 (0.5)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>9,310 (7.1)</td><td>9,231 (7.1)</td><td>8,803 (6.9)</td><td>8,814 (6.9)</td><td>11 (0.0)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>1,050,806 (8.3)</td><td>1,029,800 (8.0)</td><td>1,003539 (8.0)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <div>○ 一般診療所における分娩数（医療施設調査）</div> <div>単位：人、（ ）書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (H23.9)</td><td>② H27 (H26)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>168 (119.9)</td><td>46 (188.6)</td><td>△122 (68.7)</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>530 (40.4)</td><td>359 (148.4)</td><td>△171 (108.0)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>40,309 (31.9)</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> <div>（周産期医療の体制）</div> <div>○ 低出生体重児出生数（人口動態調査、岩手県調べ）</div> <div>単位：人、（ ）書は低出生体重児出生（％）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H25 (H24)</td><td>H26 (H25)</td><td>①H27 (H26)</td><td>②H28 (H27)</td><td>増減 ②-①</td><td>備考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>93 (9.3)</td><td>92 (9.2)</td><td>74 (8.2)</td><td>84 (8.8)</td><td>10 (0.6)</td><td rowspan="3">毎年調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>863 (9.30)</td><td>893 (9.7)</td><td>858 (9.7)</td><td>810 (9.2)</td><td>△48 (△0.5)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>99,331 (9.57)</td><td>96,473 (9.4)</td><td>95,768 (9.5)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <div>（産科医療従事者数、医療機関数）</div> <div>○ 産婦人科医師数（医師・歯科医師・薬剤師調査、厚生労働省）</div> <div>単位：人、（ ）書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H24 (22.12.31)</td><td>①H25 (24.12.31)</td><td>②H27 (26.12.31)</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>5 (3.5)</td><td>6 (4.3)</td><td>6 (4.4)</td><td>－ (0.1)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>94 (7.1)</td><td>98 (7.5)</td><td>100 (7.8)</td><td>2 (0.3)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>10,652 (8.4)</td><td>10,868 (8.6)</td><td>－</td><td>－ (－)</td></tr></table>	区 分	H25 (H24)	H26 (H25)	②H27 (H26)	H28 (H27)	増減 ②-①	胆 江	1,039 (7.4)	997 (7.2)	898 (6.6)	959 (7.1)	61 (0.5)	岩手県	9,310 (7.1)	9,231 (7.1)	8,803 (6.9)	8,814 (6.9)	11 (0.0)	全 国	1,050,806 (8.3)	1,029,800 (8.0)	1,003539 (8.0)	－ (－)	－ (－)	区 分	① H 24 (H23.9)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考	胆 江	168 (119.9)	46 (188.6)	△122 (68.7)	3 年毎調査	岩手県	530 (40.4)	359 (148.4)	△171 (108.0)	全 国	40,309 (31.9)	－	－	区 分	H25 (H24)	H26 (H25)	①H27 (H26)	②H28 (H27)	増減 ②-①	備考	胆 江	93 (9.3)	92 (9.2)	74 (8.2)	84 (8.8)	10 (0.6)	毎年調査	岩手県	863 (9.30)	893 (9.7)	858 (9.7)	810 (9.2)	△48 (△0.5)	全 国	99,331 (9.57)	96,473 (9.4)	95,768 (9.5)	－ (－)	－ (－)	区 分	H24 (22.12.31)	①H25 (24.12.31)	②H27 (26.12.31)	増減 ②-①	胆 江	5 (3.5)	6 (4.3)	6 (4.4)	－ (0.1)	岩手県	94 (7.1)	98 (7.5)	100 (7.8)	2 (0.3)	全 国	10,652 (8.4)	10,868 (8.6)	－	－ (－)	<div>（産科医療従事者数、医療機関数）</div> <div>○ 産科医師不足や分娩施設の減少に対応し、</div> <div>安全安心に出産を迎えるために、助産師外 来や院内助産など、周産期医療における助産師の活用を推進します。</div> <div>○ 産婦人科医師が全県で不足している状況のもと、産婦人科診療機能の拠点化による機能強化を図るとともに、引き続き、全県レベルで医師の確保対策に取り組んでいきます。</div>		
区 分	H25 (H24)	H26 (H25)	②H27 (H26)	H28 (H27)	増減 ②-①																																																																																							
胆 江	1,039 (7.4)	997 (7.2)	898 (6.6)	959 (7.1)	61 (0.5)																																																																																							
岩手県	9,310 (7.1)	9,231 (7.1)	8,803 (6.9)	8,814 (6.9)	11 (0.0)																																																																																							
全 国	1,050,806 (8.3)	1,029,800 (8.0)	1,003539 (8.0)	－ (－)	－ (－)																																																																																							
区 分	① H 24 (H23.9)	② H27 (H26)	増減 ②-①	備 考																																																																																								
胆 江	168 (119.9)	46 (188.6)	△122 (68.7)	3 年毎調査																																																																																								
岩手県	530 (40.4)	359 (148.4)	△171 (108.0)																																																																																									
全 国	40,309 (31.9)	－	－																																																																																									
区 分	H25 (H24)	H26 (H25)	①H27 (H26)	②H28 (H27)	増減 ②-①	備考																																																																																						
胆 江	93 (9.3)	92 (9.2)	74 (8.2)	84 (8.8)	10 (0.6)	毎年調査																																																																																						
岩手県	863 (9.30)	893 (9.7)	858 (9.7)	810 (9.2)	△48 (△0.5)																																																																																							
全 国	99,331 (9.57)	96,473 (9.4)	95,768 (9.5)	－ (－)	－ (－)																																																																																							
区 分	H24 (22.12.31)	①H25 (24.12.31)	②H27 (26.12.31)	増減 ②-①																																																																																								
胆 江	5 (3.5)	6 (4.3)	6 (4.4)	－ (0.1)																																																																																								
岩手県	94 (7.1)	98 (7.5)	100 (7.8)	2 (0.3)																																																																																								
全 国	10,652 (8.4)	10,868 (8.6)	－	－ (－)																																																																																								

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																				
	<div>○ 分娩可能な病院所数（医療施設調査）</div> <div>単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>①H 24 (H23. 10. 1)</td><td>②H 27 (H26. 10. 1)</td><td>増減 ②－①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>0 (－)</td><td>0 (－)</td><td>－ (－)</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>12 (0. 9)</td><td>12 (0. 9)</td><td>0 (0. 0)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>1, 075 (0. 9)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <div>○ 分娩可能な診療所数（医療施設調査）</div> <div>単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>H 24 (H23. 10. 1)</td><td>H27 (H26. 10. 1)</td><td>増減 ②－①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>5 (3. 6)</td><td>5 (3. 7)</td><td>0 (0. 1)</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>27 (2. 1)</td><td>21 (1. 6)</td><td>△6 (0. 5)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>1, 501 (1. 2)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <div>（周産期医療体制システム）</div> <div>○ 岩手県は、限られた周産期医療資源の下、安全な出産と母体や新生児に必要な医療の確保を目的に、平成 13 年 4 月から総合周産期母子医療センターを中核として、地域周産期母子医療センター、協力病院及び県内の医療機関の連携による「岩手県周産期医療システム」を構築しています。</div> <div>○ 胆江圏域には、地域周産期母子医療センター、協力病院がなく、隣接する岩手中部、両磐圏域の産科医療機関がその役割を担っています。</div>	区 分	①H 24 (H23. 10. 1)	②H 27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考	胆 江	0 (－)	0 (－)	－ (－)	3 年毎調査	岩手県	12 (0. 9)	12 (0. 9)	0 (0. 0)	全 国	1, 075 (0. 9)	－ (－)	－ (－)	区 分	H 24 (H23. 10. 1)	H27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考	胆 江	5 (3. 6)	5 (3. 7)	0 (0. 1)	3 年毎調査	岩手県	27 (2. 1)	21 (1. 6)	△6 (0. 5)	全 国	1, 501 (1. 2)	－ (－)	－ (－)				
区 分	①H 24 (H23. 10. 1)	②H 27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考																																					
胆 江	0 (－)	0 (－)	－ (－)	3 年毎調査																																					
岩手県	12 (0. 9)	12 (0. 9)	0 (0. 0)																																						
全 国	1, 075 (0. 9)	－ (－)	－ (－)																																						
区 分	H 24 (H23. 10. 1)	H27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考																																					
胆 江	5 (3. 6)	5 (3. 7)	0 (0. 1)	3 年毎調査																																					
岩手県	27 (2. 1)	21 (1. 6)	△6 (0. 5)																																						
全 国	1, 501 (1. 2)	－ (－)	－ (－)																																						
小児医療の体制	<div>（小児科医療従事者数、医療機関数）</div> <div>○ 小児科医師数（医師、歯科医師、薬剤師調査）</div> <div>単位：人、（ ）書は 15 歳未満人口 10 万対</div> <table><tr><td>区 分</td><td>② H24 (22. 12. 31)</td><td>② H25 (24. 12. 31)</td><td>増減 ②-①</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>9 (49. 7)</td><td>10 (56. 9)</td><td>1 (7. 2)</td><td rowspan="3">2 年毎 調 査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>128 (75. 8)</td><td>143 (88. 3)</td><td>15 (12. 5)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>15, 870 (95. 1)</td><td>16, 340 (98. 7)</td><td>470 (3. 6)</td></tr></table>	区 分	② H24 (22. 12. 31)	② H25 (24. 12. 31)	増減 ②-①	備 考	胆 江	9 (49. 7)	10 (56. 9)	1 (7. 2)	2 年毎 調 査	岩手県	128 (75. 8)	143 (88. 3)	15 (12. 5)	全 国	15, 870 (95. 1)	16, 340 (98. 7)	470 (3. 6)	<div>（小児救急医療提供体制）</div> <div>○ 胆江地域の小児救急医療電話相談事業の利用者が多いとは言えないことから、事業の周知を図る必要があります。（新規追加）</div> <div>○ 今後も小児夜間診療所開設などによる初期小児救急医療の充実を図る必要があります。</div> <div>○ 子どもの発熱やけがのうち、症状が軽い場合における初期の対応や、休日・夜間の救急外来への適切な受診について、保護者への啓発が必要です。</div>	<div>（小児救急医療提供体制）</div> <div>○ 小児救急医療電話相談事業について、様々な機会を通じて周知に努めます。</div> <div>○ 今後も引き続き、小児救急医療体制の確保に努めます。</div> <div>○ 病院（二次救急医療機関）、市町、保健所は、医師会と連携し、保護者に対する受診の方法等について、普及啓発を図っていきます。</div>	<div>【奥州市医師会】</div> <div>○ 奥州市国保小児夜間診療所への医師派遣</div> <div>○ 小児科救急医師研修事業ブロック別医師研修会の開催</div> <div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 障がい児者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業（歯科検診及び口腔ケア、施設職員への研修及び実地指導）</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 小児夜間診療所の設置（365 日、午後 6 時 30 分から 9 時）</div>	<div>【奥州市医師会】</div> <div>○ 奥州市国保小児夜間診療所への医師派遣</div> <div>○ 小児科救急医師研修事業ブロック別医師研修会の開催</div> <div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 障がい児者に対する歯科対応の検討</div> <div>○ 障害児者施設（ひだまり）との協議会</div> <div>○ 障がい児者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業（歯科検診及び口腔ケア、施設職員への研修及び実地指導）</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 小児夜間診療所の設置（365 日、午後 6 時 30 分から 9 時）</div>																		
区 分	② H24 (22. 12. 31)	② H25 (24. 12. 31)	増減 ②-①	備 考																																					
胆 江	9 (49. 7)	10 (56. 9)	1 (7. 2)	2 年毎 調 査																																					
岩手県	128 (75. 8)	143 (88. 3)	15 (12. 5)																																						
全 国	15, 870 (95. 1)	16, 340 (98. 7)	470 (3. 6)																																						

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																																			
	<div>○ 一般小児医療を担う病院数（医療施設調査） 単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</div> <table><tr><th>区 分</th><th>①H 24 (H23. 10. 1)</th><th>②H27 (H26. 10. 1)</th><th>増減 ②－①</th><th rowspan="3">備 考</th></tr><tr><td>岩手県</td><td>42 (3. 2)</td><td>41 (3. 2)</td><td>△ 1 (0. 0)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>2, 765 (2. 2)</td><td>2, 677 (2. 1)</td><td>△88 (△0. 1)</td></tr></table> <div>○ 一般小児医療を担う診療所数（医療施設調査） 単位：施設、（ ）書は人口 10 万対</div> <table><tr><th>区 分</th><th>①H 24 (H23. 10. 1)</th><th>②H27 (H26. 10. 1)</th><th>増減 ②－①</th><th rowspan="3">備 考</th></tr><tr><td>岩手県</td><td>40 (3. 0)</td><td>41 (3. 2)</td><td>1 (0. 2)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>5, 381 (4. 3)</td><td>5, 510 (4. 4)</td><td>129 (0. 1)</td></tr></table> <div>（小児救急医療提供体制）</div> <div>○ 小児救急医療電話相談の件数（都道府県調査） 単位：件（15 歳未満人口 10 万対）</div> <table><tr><th>区 分</th><th>H 24 (H23)</th><th>H25 (H24)</th><th>①H26 (H25)</th><th>②H27 (H26)</th><th>増減 ②－①</th></tr><tr><td>胆 江</td><td>365 (20. 4)</td><td>349 (19. 9)</td><td>358 (20. 8)</td><td>345 (20. 5)</td><td>△13 (△0. 3)</td></tr></table> <div>○ 小児夜間診療所の患者数（奥州市調べ） 単位：人</div> <table><tr><th>区分</th><th>H24 (25. 3 末)</th><th>H25 (26. 3 末)</th><th>H26 (27. 3 末)</th><th>H27 (28. 3 末)</th><th>増減 ②－①</th></tr><tr><td>胆江</td><td>1, 748</td><td>1, 747</td><td>1, 753</td><td>1, 729</td><td>△ 1</td></tr></table> <div>○ 第二次救急医療体制については、県立胆沢病院、奥州市総合水沢病院が担っていますが、小児の時間外対応を行う診療所はありません。</div>	区 分	①H 24 (H23. 10. 1)	②H27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考	岩手県	42 (3. 2)	41 (3. 2)	△ 1 (0. 0)	全 国	2, 765 (2. 2)	2, 677 (2. 1)	△88 (△0. 1)	区 分	①H 24 (H23. 10. 1)	②H27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考	岩手県	40 (3. 0)	41 (3. 2)	1 (0. 2)	全 国	5, 381 (4. 3)	5, 510 (4. 4)	129 (0. 1)	区 分	H 24 (H23)	H25 (H24)	①H26 (H25)	②H27 (H26)	増減 ②－①	胆 江	365 (20. 4)	349 (19. 9)	358 (20. 8)	345 (20. 5)	△13 (△0. 3)	区分	H24 (25. 3 末)	H25 (26. 3 末)	H26 (27. 3 末)	H27 (28. 3 末)	増減 ②－①	胆江	1, 748	1, 747	1, 753	1, 729	△ 1				<div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 小児科患者の治療に係る基本的医療機能の確保・充実</div> <div>【奥州市総合水沢病院】</div> <div>○ 幼稚園、保育所の保護者等へ、小児疾病の対処法の理解を目的に小児医療講演会を実施（4 回、6 月、10 月、2 月 150 人）</div> <div>○ 小児生活習慣病採血への協力（38 校）</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 奥州市からの各種予防接種業務の受託</div> <div>○ 子ども予防接種週間への協力</div> <div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 北上済生会病院からの応援医師による診療（火及び金曜日・午後）</div> <div>○ 市の乳児健診及び予防接種に対応</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ こども救急相談電話の周知の実施（保健所玄関にパンフレット配架）</div>	<div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 小児科患者の治療に係る基本的医療機能の確保・充実</div> <div>【奥州市総合水沢病院】</div> <div>○ 幼稚園、保育所の保護者等へ、小児疾病の対処法の理解を目的に小児医療講演会を実施（2～3 回）</div> <div>○ 小児生活習慣病採血への協力（38 校）</div> <div>○ 小児生活習慣病に関する講演会の開催</div> <div>【奥州病院】</div> <div>○ 奥州市からの各種予防接種業務の受託</div> <div>○ 子ども予防接種週間への協力</div> <div>【県立江刺病院】</div> <div>○ 北上済生会病院からの応援医師による診療（火及び金曜日・午後）</div> <div>○ 市の乳児健診及び予防接種に対応</div> <div>【奥州保健所】</div> <div>○ こども救急相談電話の周知の実施（保健所玄関にパンフレット配架）</div>
区 分	①H 24 (H23. 10. 1)	②H27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考																																																				
岩手県	42 (3. 2)	41 (3. 2)	△ 1 (0. 0)																																																					
全 国	2, 765 (2. 2)	2, 677 (2. 1)	△88 (△0. 1)																																																					
区 分	①H 24 (H23. 10. 1)	②H27 (H26. 10. 1)	増減 ②－①	備 考																																																				
岩手県	40 (3. 0)	41 (3. 2)	1 (0. 2)																																																					
全 国	5, 381 (4. 3)	5, 510 (4. 4)	129 (0. 1)																																																					
区 分	H 24 (H23)	H25 (H24)	①H26 (H25)	②H27 (H26)	増減 ②－①																																																			
胆 江	365 (20. 4)	349 (19. 9)	358 (20. 8)	345 (20. 5)	△13 (△0. 3)																																																			
区分	H24 (25. 3 末)	H25 (26. 3 末)	H26 (27. 3 末)	H27 (28. 3 末)	増減 ②－①																																																			
胆江	1, 748	1, 747	1, 753	1, 729	△ 1																																																			



	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定																																				
在宅医療の体制	<div>（在宅療養）</div> <div>○ 在宅療養支援診療所（診療報酬施設基準）  （人口 10 万対）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H24</td><td>② H27</td><td>増減 ②-①</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>4 (2.9)</td><td>4 (－)</td><td>0 (－)</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>83 (6.3)</td><td>85 (－)</td><td>2 (－)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>13,012 (10.3)</td><td>－ (－)</td><td>－ (－)</td></tr></table> <div>（看取りの状況）</div> <div>○ 在宅看取り診療所数（医療施設調査）  （人口 10 万対）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24 (23.10.1)</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>2 (1.4)</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>30 (2.3)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>3,280 (2.6)</td></tr></table> <div>○ 在宅看取り病院数（医療施設調査 3 年毎調査）  （人口 10 万対）</div> <table><tr><td>区 分</td><td>① H 24</td><td>備 考</td></tr><tr><td>胆 江</td><td>－ (－)</td><td rowspan="3">3 年毎調査</td></tr><tr><td>岩手県</td><td>3 (0.2)</td></tr><tr><td>全 国</td><td>268 (0.2)</td></tr></table>	区 分	① H24	② H27	増減 ②-①	胆 江	4 (2.9)	4 (－)	0 (－)	岩手県	83 (6.3)	85 (－)	2 (－)	全 国	13,012 (10.3)	－ (－)	－ (－)	区 分	① H 24 (23.10.1)	備 考	胆 江	2 (1.4)	3 年毎調査	岩手県	30 (2.3)	全 国	3,280 (2.6)	区 分	① H 24	備 考	胆 江	－ (－)	3 年毎調査	岩手県	3 (0.2)	全 国	268 (0.2)	<div>（在宅療養）</div> <div>○ 在宅生活を希望する要介護高齢者等が、在宅で訪問医療サービスや介護サービスを利用しながら在宅生活を実現し継続できる仕組みが必要です。</div> <div>○ 医療を必要とする高齢者の増加に対応するため、在宅療養を支援する医療機関の拡充に取り組む必要があります。</div> <div>（医療と介護との連携）</div> <div>○ 医療や介護サービス、生活支援サービス等、利用者のニーズに応じて対応することのできる「地域包括ケアシステム」の仕組みが必要です。</div>	<div>（在宅療養）</div> <div>○ 在宅生活に必要な医療及び介護に係る各種サービスを提供することが出来るよう地域包括ケア等の体制整備を推進します。</div> <div>○ 医師会や市町などと連携して、24 時間体制で連絡や往診等が可能な在宅療養支援病院・診療所の設置について、検討していきます。</div> <div>（医療と介護との連携）</div> <div>○ 今後も引き続き、連携検討会を通じて医療と介護の連携について取組んでいくとともに、医師や看護師、薬剤師、ケアマネジャー等の多職種協働による在宅医療を支援するチーム医療体制の構築を推進します。</div>	<div>【奥州医師会】</div> <div>○ 在宅医療体制構築の検討</div> <div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 介護支援専門員（ケアマネ）協議会との連携口腔にトラブルのある患者を F A X にて情報提供していただき、訪問歯科診療を行う連携事業</div> <div>○ 介護支援専門員（ケアマネ）協議会との作業部会、情報交換、症例検討を行う連携会議（2 回）</div> <div>○ 《再掲》障がい児者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業（歯科検診及び口腔ケア、施設職員への研修及び実地指導）</div> <div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会への参画</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 要援護高齢者歯科相談事業（訪問 4 件、電話相談 1 件）</div> <div>○ 地域医療資源の把握と課題の抽出</div> <div>○ 地域の実状に合せた在宅医療の方向性の検討</div> <div>○ 在宅医療に関する普及啓発活動</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ 訪問診療の実施（年間 559 件）</div> <div>○ 訪問歯科診療の実施（年間 75 件）</div> <div>○ 訪問看護の実施（年間 1,810 件）</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○ 退院支援（退院先施設入所等の調整）の実施</div> <div>○ 医療・福祉に係る連携検討会等への参画</div> <div>○ 退院支援部門の強化（配置職員の増）</div> <div>【奥州市総合水沢病院】</div> <div>○ 訪問看護事業の活性化（実績 1,377 件、前年度比 167％増）</div> <div>○ 訪問看護ステーション事業の設置検討協議（通年）</div> <div>○ 介護施設職員及びケアマネージャー対象のコミュニティサポート研修会の開催（10 月、2 月）</div>	<div>【奥州医師会】</div> <div>○ 在宅医療体制構築の検討</div> <div>【奥州市歯科医師会】</div> <div>○ 介護支援専門員（ケアマネ）協議会との連携</div> <div>○ 介護支援専門員（ケアマネ）協議会との作業部会</div> <div>○ 《再掲》障がい児者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業（歯科検診及び口腔ケア、施設職員への研修及び実地指導）</div> <div>【奥州薬剤師会】</div> <div>○ 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会への参画</div> <div>○ 奥州市地域医療福祉連携検討会の後援</div> <div>【奥州市】</div> <div>○ 要援護高齢者歯科相談事業</div> <div>○ 地域包括ケア推進室新設による連携 ・地域医療資源の把握と課題の抽出 ・地域の実状に合せた在宅医療の方向性の検討 ・在宅医療に関する普及啓発事業</div> <div>○ 在宅医療に関する普及啓発活動</div> <div>【金ケ崎町】</div> <div>○ 訪問診療の実施</div> <div>○ 訪問歯科診療の実施</div> <div>○ 訪問看護の実施</div> <div>【県立胆沢病院】</div> <div>○退院支援（退院先施設入所等の調整）の実施</div> <div>○医療・福祉に係る連携検討会等への参画</div> <div>○ 退院支援部門の強化（配置職員の増）</div> <div>○ 患者への在宅療養指導訪問の実施（退院前・退院後訪問指導）</div> <div>【奥州市総合水沢病院】</div> <div>○ 訪問看護ステーションの設置（4 月）</div> <div>○ 医療依存度の高い患者等（難病、小児、ターミナル）の受入推進（通年）</div> <div>○ 介護施設職員及びケアマネージャー対象のコミュニティサポート研修会の開催（3 回）</div>
区 分	① H24	② H27	増減 ②-①																																						
胆 江	4 (2.9)	4 (－)	0 (－)																																						
岩手県	83 (6.3)	85 (－)	2 (－)																																						
全 国	13,012 (10.3)	－ (－)	－ (－)																																						
区 分	① H 24 (23.10.1)	備 考																																							
胆 江	2 (1.4)	3 年毎調査																																							
岩手県	30 (2.3)																																								
全 国	3,280 (2.6)																																								
区 分	① H 24	備 考																																							
胆 江	－ (－)	3 年毎調査																																							
岩手県	3 (0.2)																																								
全 国	268 (0.2)																																								

	現 状	課 題	課題への対応のために想定される取組	平成 27 年度における取組状況	平成 28 年度における取組予定
				<p>【奥州病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 医療相談員による退院支援</li><li>○ 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの連携</li><li>○ 訪問診療の実施</li><li>○ 介護保険による通所リハビリ、訪問リハビリの実施</li></ul> <p>【県立江刺病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ がん終末期患者等で在宅医療を希望の患者について在宅診療の提供</li><li>○ 退院支援看護師の専任配置による退院調整機能の強化</li><li>○ 地域医療福祉連携室の独立設置による体制の強化</li><li>○ 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会世話人会の活動の推進及び研修会の開催（5 月・8 月・11 月・2 月）</li></ul> <p>【美山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域におけるリハビリ科による健康講座開催</li><li>○ 地域において薬剤師による薬の付合方の講演</li></ul> <p>【奥州市国民健康保険まごころ病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 訪問診療の実施（毎週月、火、水、金）</li><li>○ 訪問看護の実施（随時）延 2,009 件</li><li>○ 訪問リハビリの実施 延 122 件</li></ul> <p>【奥州保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 医療・福祉に係る連携検討会等の開催（2 月）</li><li>○ 医療機関、居宅支援事業所等の連絡一覧の作成・配布の実施（配布先 193 施設）</li></ul>	<p>【奥州病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 医療相談員による退院支援</li><li>○ 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの連携</li><li>○ 訪問診療の実施</li><li>○ 介護保険による通所リハビリ、訪問リハビリの実施</li></ul> <p>【県立江刺病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ がん終末期患者等で在宅医療を希望の患者について在宅診療の提供</li><li>○ 退院支援看護師の専任配置による退院調整機能の強化</li><li>○ 地域医療福祉連携室の体制の強化</li><li>○ 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会世話人会の活動の推進及び研修会の開催（5 月・8 月・11 月・2 月）</li></ul> <p>【美山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域におけるリハビリ科による健康講座開催</li><li>○ 地域において薬剤師による薬の付合方の講演</li></ul> <p>【奥州市国民健康保険まごころ病院】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 訪問診療の実施（毎週月、火、水、金）</li><li>○ 訪問看護の実施（随時）</li><li>○ 訪問リハビリの実施（随時）</li></ul> <p>【奥州保健所】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 奥州市江刺区地域医療福祉連携懇話会への参画</li><li>○ 医療機関、居宅支援事業所等の連絡一覧の作成・配布の実施</li></ul>
その他				<p>【奥州市歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 出前健口講座の開催（奥州市の高齢者グループへ出向いての講話（4 回、545 人）</li><li>○ 健康まるごと講座の開催（10 回）</li></ul> <p>【金ヶ崎町社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 家族介護者リフレッシュ交流会（2 回、36 名）</li><li>○ 認知症家族介護居室（3 回、57 人）</li><li>○ 福祉有償運送サービス（利用者延べ 174 人）</li></ul>	<p>【奥州市歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 出前健口講座の開催（5 回を予定）</li><li>○ 健康まるごと講座の開催（10 を予定）</li></ul> <p>【金ヶ崎町社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 家族介護者リフレッシュ交流会（年 2 回実施）</li><li>○ 認知症家族介護居室（3 回を予定）</li><li>○ 福祉有償運送サービス</li><li>○ 買い物支援福祉バス運行（12 回を予定）</li></ul>